

いわき市立 美術館年報

令和 5 年 度

目 次

沿 革	2
展覧会事業	3
常設展	3
企画展	10
クレパス画名作展 近代の巨匠から現代の作家まで	10
古代エジプト美術館展	14
体験!いわ美Ⅱ 見て・考えて・表現して—体験する現代アート—	23
民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある—	27
小企画展	33
いわき市小・中学生版画展プラス—版画の力—	33
ニューアートシーン・イン・いわき 森口美樹展—明日の約束—	35
共催展	37
第53回いわき市民美術展覧会	37
普及事業	40
移動美術館	40
講演会	40
美術講座	41
ギャラリートーク	41
ワークショップ	42
実技講座	43
公開制作	43
映像鑑賞会	44
コンサート&パフォーマンス	44
出版	44
実技講習室の公開	45
図書室の公開	45
実習生の受け入れ	46
バーチャルミュージアム	46
共催事業	46
所蔵資料	49
美術作品収蔵状況	49
美術作品貸出状況	50
資料の購入等に関する状況	50
新収蔵作品	51
管理・運営	55
いわき市立美術館条例	55
いわき市立美術館管理規則	57
利用者一覧 事業経過報告	61
美術館費当初予算	63
名簿	64
施設案内・利用案内	65

沿革

昭和53年 2月	いわき市民ギャラリー主催による「ヘンリー・ムーア展」が開催され盛況をおさめたことが市民の反響をよび、市立美術館建設の機運が高まる
昭和53年 6月	市総合計画の中で、前期に美術館建設計画を盛り込む
昭和54年 5月	美術館建設基本構想委員会を設置、委員 6 人を委嘱
昭和54年 8月	同委員会より美術館の基本構想について答申
昭和54年11月	基本構想を具体的に検討するため、市民20名による美術館建設審議会を設置
昭和55年 3月	美術品選定評価委員会を設置、委員 5 名を委嘱
昭和55年 9月	美術館・博物館建設準備室を設置
昭和55年 9月	美術館建設審議会から美術館建設について答申
昭和55年10月	基本設計は、指名競争設計方式で行うことを決める
昭和56年 1月	美術館建設基本設計審議会を設置、委員14名を委嘱
昭和56年 1月	同委員会で佐藤武夫設計事務所の案を選定
昭和56年 9月	美術館実施計画書の提出
昭和56年12月	市議会で美術館工事請負契約を決議
昭和56年12月	建設工事着工
昭和58年11月	竣工
昭和58年12月	市議会において美術館条例を決議
昭和59年 4月	美術館組織発足
昭和59年 4月28日	開館
昭和59年 4月29日	一般公開
昭和59年10月10日	いわき市立美術館友の会発足
平成 3 年 4月	常設展の観覧料を祝日無料とする
平成 4 年 4月	企画展の観覧をもって常設展観覧無料とする 7 月、8 月の金曜日の夜間開館開始
平成 4 年10月	美術館協議会より「いわき市立美術館振興策」が提出される
平成 5 年 1月	毎月第 2 土曜日を小中学生の常設展の観覧無料とする
平成 7 年 4月	毎月第 2、第 4 土曜日を小中学生の常設展の観覧無料とする
平成12年 3月	美術館協議会より「いわき市立美術館第 2 次振興策」が提出される
平成14年 4月	障害者、高齢者の観覧を無料とする。また、児童生徒などが土曜日、日曜日に観覧する場合、および学校の教育活動などで観覧する場合の観覧料を無料とする
平成15年 9月～12月	大規模改修工事（休館）
平成19年 3月～ 7月	アスベスト除去工事（休館）
平成23年 3月11日	東日本大震災
平成25年 9月～平成26年11月	空気調和設備改修工事（休館）
平成28年 4月	行政組織の改革等に伴い文化スポーツ業務が市長部局に移管。美術館事業は補助執行により市長部局文化振興課の所管となる
令和 4 年 4月	行政組織改正に伴い、文化交流課の所管となる



美術館外観

令和5年度 常設展（前期・後期）

令和5年度常設展前期は「ポップの遺伝子：大衆性と美術」と題し、美術におけるポップ性、大衆性をテーマにコレクションを紹介した。アンディ・ウォーホル、リチャード・ハミルトンといった当館を代表するポップアートの作品や、草間彌生、篠原有司男、三島喜美代らを紹介した。小企画では「素描・版画セレクション」と題し、前期Ⅰでは海外の版画作品を、前期Ⅱでは令和4年度に新収蔵した素描、版画の作品を展示した。初めての収蔵となった石井茂雄の版画と合わせ、池田龍雄、河原温の既収蔵作品を展示することで、安保闘争前後の戦後日本前衛美術の緊張感を感じさせる展示となった。

後期は「あつまれ！ 彫刻の森」と題し、さまざまな素材の彫刻を、具象から抽象に至るまで、展示室に林立するように展示した。戸谷成雄の代表シリーズ《森》や、耳の彫刻作品を繰り返し制作した三木富雄の《耳》など、彫刻の可能性を追求した作家たちを紹介した。小企画の後期Ⅰでは没後20年を迎えた若林奮を取り上げ、初期の〈鮭の振動尺〉シリーズなど版画のシリーズを展示。作家の思索の痕跡を辿る展示となった。後期Ⅱでは河口龍夫を取り上げ、当館における1998年と2012年の個展に際して収蔵した作品、初期の代表作《陸と海》関連作品を展示した。

会 期	前期Ⅰ	2023年 4月18日(火)~2023年 7月17日(月・祝)
	前期Ⅱ	2023年 7月19日(水)~2023年10月15日(日)
	後期Ⅰ	2023年10月17日(火)~2024年 1月21日(日)
	後期Ⅱ	2024年 1月23日(火)~2024年 4月14日(日)

会 場 いわき市立美術館 常設展示室
主 催 いわき市立美術館



後期Ⅱ 収蔵作家特集：河口龍夫



後期 あつまれ！ 彫刻の森

令和5年度常設展 作品リスト

No.	作者名	作品名	制作年	技法	サイズ(cm)
令和5年度常設展 前期Ⅰ（2023年4月18日～2023年7月17日）					
■ポップの遺伝子：大衆性と美術					
1	ニキ・ド・サンファール	鏡	1980	ポリエステル、鏡	104.0×152.0×12.5
2	リチャード・ハミルトン	インテリア	1964-1965	シルクスクリーン・紙	49.0×63.6
3	デイヴィッド・ホックニー	ジョーと緑の窓	1979	リトグラフ・紙	112.5×76.5
4	デイヴィッド・ホックニー	花瓶の水仙	1980	リトグラフ・紙	112.5×76.3
5	アレックス・カット	ドンとサンドラ	1967	油彩・カンヴァス	183.2×124.0
6	草間彌生	Interminable Net No. 1	1959	油彩・カンヴァス	147.6×142.0
7	草間彌生	最後の晩餐	1981	布、いす、机	115.0×340.0×260.0
8	篠原有司男	モーターサイクル・クイーン	1975	カードボード、ポリエステル樹脂他	192.5×217.0×110.0
9	三島喜美代	BOX-84-A	1984	シルクスクリーン・陶	96.0×123.0×87.0
10	トム・ウェッセルマン	マティスのあるモニカのヌード	1987	エナメル・レーザーカットスチール	138.0×234.0
11	アンディ・ウォーホル	16のジャッキーの肖像	1964	アクリル彩、エナメル、シルクスクリーン・カンヴァス	204.8×164.0
12	ジェームズ・ローゼンクイスト	成長計画	1966	油彩・カンヴァス	178.0×356.0
13	ロイ・リクテンスタイン	二つの円のある近代絵画	1966	油彩・カンヴァス	153.0×122.0
14	ロイ・リクテンスタイン	ブルセット I	1973	ラインカット・紙	59.5×85.5
15	ロイ・リクテンスタイン	ブルセット II	1973	リトグラフ、ラインカット・紙	59.5×85.5
16	ロイ・リクテンスタイン	ブルセット III	1973	リトグラフ、スクリーンプリント、ラインカット・紙	59.5×85.5
17	ロイ・リクテンスタイン	ブルセット IV	1973	リトグラフ、スクリーンプリント、ラインカット・紙	59.5×85.5
18	ロイ・リクテンスタイン	ブルセット V	1973	リトグラフ、スクリーンプリント、ラインカット・紙	59.5×85.5
19	ロイ・リクテンスタイン	ブルセット VI	1973	リトグラフ、スクリーンプリント、ラインカット・紙	59.5×85.5
■素描・版画セレクション：海外作家を中心に					
20	ヘンリー・ムーア	横たわる母と子	1979	水彩、クレヨン・紙	24.0×29.0
21	ヘンリー・ムーア	横たわる人体	1979	リトグラフ・紙	33.0×41.5
22	パウル・ヴンダーリッヒ	かわいい牝狼	1966	リトグラフ、エッチング・紙	64.5×45.6
23	ジャン・デュビュッフェ	遊びと仕事	1953	リトグラフ・紙	66.0×50.2
24	ジャン・デュビュッフェ	帽子を被った男	1961	リトグラフ・紙	66.0×50.3
25	ヤーコブ・アガム	アガモグラフィー“フェスティバル”	1972-1975	シルクスクリーン・プラスチック	39.3×37.0
26	フランシス・ベーコン	鏡に映る記述する人	1977	リトグラフ・紙(エスタンプ)	85.2×63.5
27	フランシス・ベーコン	トリプティック 1974-1977	1981	リトグラフ・紙(エスタンプ)	38.8×93.8
28	ジョアン・ミロ	左に向かう	1968	アクアチント・紙	62.0×101.2
29	ジョアン・ミロ	田園の行楽 III	1968	アクアチント・紙	58.3×92.4
30	ビエール・アレシンスキー	海の三部作 (1) Aura negative	1979	エッチング・紙	172.0×89.7
31	ビエール・アレシンスキー	海の三部作 (2) Nouvelle île	1979	エッチング・紙	169.7×89.3
32	ビエール・アレシンスキー	海の三部作 (3) Mouvement couvrant	1979	エッチング・紙	172.0×88.5

No.	作者名	作品名	制作年	技法	サイズ(cm)
33	アントニ・タビエス	X = A	1975	エッチング、リトグラフ・紙	43.5×69.0
34	アントニ・タビエス	パンチで打った数字の8	1976	エッチング、リトグラフ・紙	70.0×46.0

■「クレバス画名作展」 出品作家から

35	難波田龍起	原子時代	1956	油彩・カンヴァス	116.7×91.0
36	池田龍雄	薄い顔	1956頃	ペン、木炭、水彩・紙	41.3×31.5
37	池田龍雄	面目乖離	1959頃	ペン、木炭、水彩・紙	37.2×47.5
38	村井正誠	ねこ	1958	油彩・カンヴァス	72.8×61.0
39	建畠覚造	ORGAN No. 8 (デッサン)	1965	鉛筆・紙	25.7×36.2
40	吉原治良	作品	1966	油彩・カンヴァス	185.0×230.0
41	猪熊弦一郎	絵の中にある絵の仲間	1980	油彩・カンヴァス	193.8×130.0

令和5年度常設展 前期Ⅱ（2023年7月19日～2023年10月15日）

■ポップの遺伝子：大衆性と美術

1	ニキ・ド・サンファール	鏡	1980	ポリエステル、鏡	104.0×152.0×12.5
2	ジム・ダイン	森の中の二つのハート	1981	シルクスクリーン、リトグラフ・紙	91.3×152.6
3	ロバート・ラウシェンバーグ	Sky Garden	1969	シルクスクリーン、リトグラフ・紙	225.0×106.0
4	アレックス・カット	ドンとサンドラ	1967	油彩・カンヴァス	183.2×124.0
5	草間彌生	Interminable Net No. 1	1959	油彩・カンヴァス	147.6×142.0
6	草間彌生	最後の晩餐	1981	布、いす、机	115.0×340.0×260.0
7	三島喜美代	BOX-84-A	1984	シルクスクリーン・陶	96.0×123.0×87.0
8	篠原有司男	モーターサイクル・クイーン	1975	カードボード、ポリエステル樹脂他	192.5×217.0×110.0
9	トム・ウェッセルマン	マティスのあるモニカのヌード	1987	エナメル・レーザーカットスチール	138.0×234.0
10	アンディ・ウォーホル	16のジャッキーの肖像	1964	アクリル彩、エナメル、シルクスクリーン・カンヴァス	204.8×164.0
11	ジェームズ・ローゼンクイスト	成長計画	1966	油彩・カンヴァス	178.0×356.0
12	ロイ・リクテンスタイン	二つの円のある近代絵画	1966	油彩・カンヴァス	153.0×122.0
13	ロイ・リクテンスタイン	スウィート・ドリームス・ベイビー	1965	シルクスクリーン・紙	95.6×70.2
14	ジャスパール・ジョーンズ	色数字 1	1969-1970	リトグラフ・紙	96.5×78.5
15	ジャスパール・ジョーンズ	色数字 3	1969-1970	リトグラフ・紙	96.5×78.5
16	ジャスパール・ジョーンズ	色数字 6	1969-1970	リトグラフ・紙	96.5×78.5
17	ジャスパール・ジョーンズ	色数字 7	1969-1970	リトグラフ・紙	96.5×78.5

■素描・版画セレクション：新収蔵作品を中心に

18	若林奮	日仏会館ポスター A-2	1982	シルクスクリーン（ナイロン2版）・紙	51.0×36.0
19	若林奮	日仏会館ポスター B-2	1982	シルクスクリーン（ナイロン2版）・紙	51.0×36.0
20	浜田知明	風景	1954	エッチング、アクアチント・紙	41.5×55.0
21	浜田知明	初年兵哀歌（歩哨）	1954	エッチング、アクアチント・紙	24.0×16.2
22	浜田知明	刑場（A）	1954	エッチング、アクアチント・紙	24.5×18.3

No.	作者名	作品名	制作年	技法	サイズ(cm)
23	浜田知明	刑場 (B)	1954	エッチング、アクアチント・紙	22.0×10.6
24	浜田知明	カタコンベ	1982	エッチング、アクアチント・紙	48.7×35.5
25	石井茂雄	使者	1958	エッチング、アクアチント・紙	38.0×56.0
26	石井茂雄	タレントたち A	1960	エッチング、アクアチント・紙	32.4×50.0
27	石井茂雄	タレントたち B	1960	エッチング、アクアチント・紙	37.5×57.0
28	池田龍雄	無題 (街シリーズ)	1959	コンテ・紙	29.0×37.5
29	河原温	印刷絵画 No. 2 いれずみ	1959	オフセット・紙	76.0×51.0
30	河原温	印刷絵画 No. 3 植民地の怒り	1959	オフセット・紙	76.0×51.0
31	河原温	印刷絵画 No. 4 砦	1959	オフセット・紙	34.5×51.0
32	佐藤忠良	エスキモー人形	1971頃	鉛筆、色鉛筆・紙 (色紙)	25.7×22.8
33	野見山暁治	ホントのこと	1993	リトグラフ・紙	61.0×82.5
34	高松次郎	《赤ん坊の影》のためのエスキース A	1980	鉛筆・トレーシングペーパー、紙	27.2×37.6
35	高松次郎	《赤ん坊の影》のためのエスキース B	1980	鉛筆・トレーシングペーパー、紙	27.2×37.6
36	高松次郎	《赤ん坊の影》のためのエスキース C	1980	鉛筆・トレーシングペーパー、紙	27.2×37.6
37	赤塚祐二	Canary 29211	1993	油彩、ワックス・カンヴァス	227.0×180.0
38	赤塚祐二	版画集『hana』	1995	アクアチント・紙 1版1色 4点組	各54.5×63.0
39	辰野登恵子	Nov. 23-93	1993	エッチング、アクアチント・紙	95.2×70.0
40	辰野登恵子	April-1-91	1991	リトグラフ・紙	102.0×76.0
41	辰野登恵子	MEM-K8	1975	シルクスクリーン・紙	68.2×94.0

令和5年度常設展 後期Ⅰ (2023年10月17日～2024年1月21日)

■あつまれ！ 彫刻の森

1	山本正道	追憶	1975	ブロンズ (1983年追 casting)	21.3×95.5×38.5
2	土谷武	蛭 VII-a	1982	コルテン銅	12.5×41.0×20.0
3	土谷武	Movement I	1977	軟銅	94.5×90.0×137.5
4	野村和弘	untitled (dance)	2002	玩具、針金、木、アルミ板、 アクリル塗料	28.0×23.0×17.0
5	野村和弘	タブロー形式の作品 1 - 347	1989～	アクリル絵の具、カンヴァス、 木枠	26.0×19.5×3.0
6	野村和弘	タブロー形式の作品 1 - 349	1989～	アクリル絵の具、カンヴァス、 木枠	26.0×19.5×3.0
7	松浦良	入坑前	1953	木	175.5×59.5×34.7
8	木内克	座裸婦	1959	ブロンズ	105.0×76.0×68.0
9	伊藤知香	陶衣	1979	陶、木	86.0×55.0×79.0
10	工藤哲巳	遺伝染色体の中の散歩	1979	鳥籠、木、プラスチック、 糸ほか	33.5×18.5×28.0
11	三木富雄	耳	不詳	アルミニウム	12.0×143.1×49.8
12	建畠覚造	LANDSCAPE - 13	1982	合板	17.1×44.6×44.6
13	建畠覚造	LANDSCAPE (デッサン1)	1982	鉛筆・紙	25.7×36.2
14	若林奮	Work No. 8 - L	1987	鉄	244.5×114.0×57.0

No.	作者名	作品名	制作年	技法	サイズ(cm)
15	デイヴィッド・ナッシュ	舟とかたまりー降りてくるもの	1989-1991	木	230.0×77.5×55.0
16	篠内佐斗司	犬モ歩ケバ...	1980	木、鉄	600.0×120.0×60.0
17	戸谷成雄	森	1988-1991	木、灰、アクリル彩	213.0×490.0×30.0
18	小清水漸	作業台「水」	1979	木、水	61.0×120.0×79.0
19	松本雅之	廃市 '89 No. 6	1989	真鍮	80.0~120.0×18.0~22.0×10.0~20.0
20	ヨーゼフ・ボイス	櫓 (そり)	1969	木、毛布、懐中電灯、脂肪、ベルト	35.0×90.0×35.0
21	北代省三	『バルキスとソロモン』 ジェラルド・ド・ネルヴァル／『暁の女王と精霊の王の物語』より	1987-1994	木	12.7×20.0×34.0
22	土谷武	虫 III-b	1977	軟銅、鋳鉄	30.0×50.0×40.0

■収蔵作家特集：若林奮

23	若林奮	鯉の振動尺 1 - A	1978	ドライポイント、エングレーヴィング・紙 (銅版・真鍮版)	41.5×165.3
24	若林奮	鯉の振動尺 1 - B	1978	ドライポイント、エングレーヴィング・紙 (銅版)	41.5×165.0
25	若林奮	ノート・鯉の尾鰭 補遺 水のとどまるところ I	1978	ドライポイント・紙	32.0×32.0
26	若林奮	ノート・鯉の尾鰭 補遺 水のとどまるところ II	1978	ドライポイント・紙	32.0×32.0
27	若林奮	ノート・鯉の尾鰭 補遺 水のとどまるところ III	1978	ドライポイント・紙	32.3×32.0
28	若林奮	ノート・鯉の尾鰭 補遺 水のとどまるところ IV	1978	ドライポイント・紙	44.0×35.0
29	若林奮	ノート・鯉の尾鰭 補遺 水のとどまるところ V	1978	ドライポイント・紙	32.0×32.0
30	若林奮	RED FIELD 1	1991	ドライポイント・紙	115.5×130.5
31	若林奮	RED FIELD 4	1991	ドライポイント・紙	115.5×130.5
32	若林奮	RED FIELD 5	1991	ドライポイント・紙	115.5×130.5
33	若林奮	RED FIELD 6	1991	ドライポイント・紙	115.5×130.5
34	若林奮	RED FIELD 7	1991	ドライポイント・紙	115.5×130.5
35	若林奮	RED FIELD 8	1991	ドライポイント・紙	115.5×130.5
36	若林奮	RED FIELD 11	1991	ドライポイント・紙	115.5×130.5
37	若林奮	RED FIELD 14	1991	ドライポイント・紙	115.5×130.5
38	若林奮	RED FIELD 15	1991	ドライポイント・紙	115.5×130.5
39	若林奮	RED FIELD 16	1991	ドライポイント・紙	115.5×130.5
40	若林奮	RED FIELD 17	1991	ドライポイント・紙	115.5×130.5
41	若林奮	RED FIELD 18	1991	ドライポイント・紙	115.5×130.5
42	若林奮	所有・雰囲気・振動—綿を含む三角形	1984	油彩、パステル・銅	120.0×43.0×43.0
43	若林奮	無題 1	1987	鉛筆、インク、水彩・紙	23.0×19.3
44	若林奮	無題 2	1987	鉛筆、水彩・紙	23.0×19.3
45	若林奮	無題 3	1987	鉛筆、インク、水彩・紙	23.0×19.3
46	若林奮	無題 4	1987	鉛筆、インク、水彩・紙	23.0×19.3
47	若林奮	無題 5	1987	鉛筆、インク、水彩・紙	23.0×19.3
48	若林奮	無題 6	1987	鉛筆、インク、水彩・紙	23.0×19.3
49	若林奮	無題 7	1987	インク・紙	23.0×19.3
50	若林奮	無題 8	1987	インク・紙	23.0×19.3
51	若林奮	無題 9	1987	インク・紙	23.0×19.3

No.	作者名	作品名	制作年	技法	サイズ(cm)
52	若林奮	無題 10	1987	インク・紙	23.0×19.3
53	若林奮	無題 11	1987	インク・紙	23.0×19.3
54	若林奮	無題 12	1987	インク・紙	23.0×19.3

令和5年度常設展 後期Ⅱ（2024年1月23日～2024年4月14日）

■あつまれ！ 彫刻の森

1	山本正道	追憶	1975	ブロンズ（1983年追铸造）	21.3×95.5×38.5
2	土谷武	蝉 VII-a	1982	コルテン銅	12.5×41.0×20.0
3	土谷武	Movement I	1977	軟銅	94.5×90.0×137.5
4	野村和弘	untitled (dance)	2002	玩具、針金、木、アルミ板、 アクリル塗料	28.0×23.0×17.0
5	野村和弘	タブロー形式の作品 1 - 347	1989～	アクリル絵の具、カンヴァス、 木枠	26.0×19.5×3.0
6	野村和弘	タブロー形式の作品 1 - 349	1989～	アクリル絵の具、カンヴァス、 木枠	26.0×19.5×3.0
7	松浦良	入坑前	1953	木	175.5×59.5×34.7
8	木内克	座裸婦	1959	ブロンズ	105.0×76.0×68.0
9	伊藤知香	陶衣	1979	陶、木	86.0×55.0×79.0
10	工藤哲巳	遺伝染色体の中の散歩	1979	鳥籠、木、プラスチック、 糸ほか	33.5×18.5×28.0
11	三木富雄	耳	不詳	アルミニウム	12.0×143.1×49.8
12	建畠覚造	LANDSCAPE - 13	1982	合板	17.1×44.6×44.6
13	建畠覚造	LANDSCAPE（デッサン2）	1982	鉛筆・紙	25.7×36.2
14	若林奮	Work No. 8 - L	1987	鉄	244.5×114.0×57.0
15	デイヴィッド・ナッシュ	舟とかたまりー降りてくるもの	1989-1991	木	230.0×77.5×55.0
16	篠内佐斗司	犬モ歩ケバ...	1980	木、鉄	600.0×120.0×60.0
17	戸谷成雄	森	1988-1991	木、灰、アクリル彩	213.0×490.0×30.0
18	小清水漸	作業台「水」	1979	木、水	61.0×120.0×79.0
19	松本雅之	廃市 '89 No. 6	1989	真鍮	80.0～120.0×18.0～ 22.0×10.0～20.0
20	ヨーゼフ・ボイス	櫓（そり）	1969	木、毛布、懐中電灯、脂肪、 ベルト	35.0×90.0×35.0
21	北代省三	『バルキスとソロモン』ジェラール・ ド・ネルヴァル／『暁の女王と精霊 の王の物語』より	1987-1994	木	12.7×20.0×34.0
22	土谷武	虫 III-b	1977	軟銅、鋳鉄	30.0×50.0×40.0

■収蔵作家特集：河口龍夫

23	河口龍夫	陸と海 1970年4月22日7時19分 59秒	1970	写真	18.4×31.0
24	河口龍夫	陸と海からの時相	1970-2017	ゼログラフィー、鉛筆・紙	38.1×54.1
25	河口龍夫	陸と海とその外側	1970-2017	ゼログラフィー、鉛筆・紙	70.0×100.0
26	河口龍夫	陸と海とその裏側	1970-2017	ゼログラフィー、鉛筆・紙	18.4×31.0
27	河口龍夫	see saw seen（材木）	1973	写真・パネル	72.8×103.0
28	河口龍夫	関係ー質	1988	布、銅、液体	180.0×301.0
29	河口龍夫	関係ー教育・エドゥカティオ 26	1994	大学院便覧、木、銅、真鍮、 鉛筆によるドローイング	24.7×25.7×50.0
30	河口龍夫	関係ー教育・エドゥカティオ 35	1995	芸術専門学群シラバス、銅、 真鍮	44.0×24.5×42.0
31	河口龍夫	関係ー教育・エドゥカティオ 43	1997	芸術専門学群シラバス、蜜 蝋、銅、亜鉛、金網、ゴムホー ス、ペイント	11.0×41.0×50.0

No.	作者名	作品名	制作年	技法	サイズ(cm)
32	河口龍夫	関係－教育・エドゥカティオ 60	2000	大学院便覧、蜜蝋、木、鉛筆、銅	29.8×5.6×25.8
33	河口龍夫	関係－教育・エドゥカティオ 61	2000	履修便覧、蜜蝋、木、ビニールホース、銅、硫化カドミウム	33.7×30.6×14.5
34	河口龍夫	関係－教育・エドゥカティオ 62	2000	開設科目一覧、蜜蝋、あかしやの葉、銅釘、合板、ペイント	30.2×46.1×4.8
35	河口龍夫	関係－教育・エドゥカティオ 67	2002	学生名簿、蜜蝋、銅線、木、ペイント、鉄	24.5×61.6×31.2
36	河口龍夫	関係－教育・エドゥカティオ 70	2002	大学院便覧、芸術専門学群シラバス、履修便覧、開設授業科目一覧、蜜蝋、亜鉛華、引き出し、ペイント	48.0×24.0×8.3
37	河口龍夫	手始め 1	2011	紙、鉛筆	37.1×27.3
38	河口龍夫	手始め 2	2011	紙、鉛筆、水彩絵具	37.1×27.3
39	河口龍夫	手始め 3	2011	紙、鉛筆、水彩絵具、水性ペン	37.1×27.3
40	河口龍夫	手始め 4	2011	紙、鉛筆	37.1×27.3
41	河口龍夫	失語の折り 3.17	2011	紙、新聞紙、ジェッソ	60.6×45.5
42	河口龍夫	失語の折り 4.16	2011	紙、新聞紙、ジェッソ	60.6×45.5
43	河口龍夫	失語の折り 6.11	2011	紙、新聞紙、ジェッソ	60.6×45.5
44	河口龍夫	失語の折り 11.13	2011	新聞紙、鉛、種子	60.6×45.5
45	河口龍夫	鎮魂の 3 月	2011	新聞紙、ジェッソ、紐、色鉛筆、種子（蓮）、蜜蝋、銅線、塗料、ウレタンニス	28.5×11.0×46.0
46	河口龍夫	DARK BOX 2011	2011	鉄、間、間への鉛の封書	37.0×60.0×35.0
47	河口龍夫	一億年前のアンモナイトから	2011	和紙、鉛筆、紙	20.1×28.5
48	河口龍夫	1 億 2000 万年前のトンボから	2011	和紙、鉛筆、紙	17.4×23.0
49	河口龍夫	300 万年前の二枚貝から	2011	和紙、鉛筆、紙	27.3×34.3
50	河口龍夫	7000 万年前の変形アンモナイトから	2011	和紙、鉛筆、紙	19.0×27.4
51	河口龍夫	太陽と描いた無数の点 あるいは熱の星空（9 点中 1 点）	2012	遠野和紙、太陽熱	61.0×92.0
52	河口龍夫	太陽と描いた色のない虹	2011	紙、太陽熱	19.4×27.2
53	河口龍夫	太陽と描いた未完の円	2011	紙、太陽熱	19.9×26.0
54	河口龍夫	太陽と描いたピラミッド	2011	紙、太陽熱	18.6×27.1
55	河口龍夫	太陽と描いた矩形	2011	紙、太陽熱	19.4×27.3
56	河口龍夫	貝の未来	2011	貝殻、石塑、水彩絵具	-

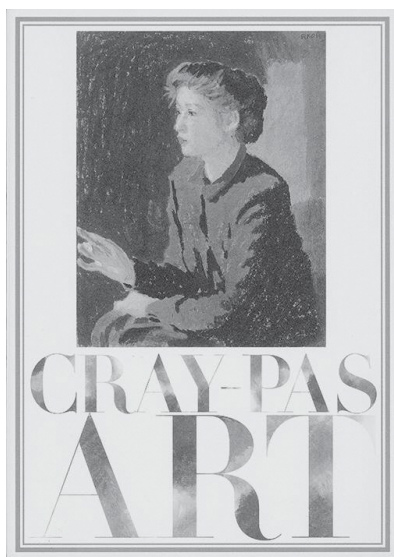
クレパス画名作展 近代の巨匠から現代の作家まで

サクラアートミュージアム（大阪）のコレクションから、クレパスによって描かれた作品を紹介する展覧会。クレパスは1925年（大正14年）に日本で誕生した描画材料である。着色性が良く伸展性に優れているうえ混色も自在で、油絵具に近い表現が可能であるため、油絵具の入手が困難だった戦中・戦後には多くの画家たちが注目する画材となり、やがてその持ち味を生かしたオリジナリティあふれる作品が生まれた。開発と普及に関わった画家、山本鼎をはじめ、梅原龍三郎や小磯良平、岡本太郎といった大正・昭和時代の洋画界の巨匠から、新進気鋭の現代作家に至るまで、133点を展示した。プロの作家によるクレパ

スならではのテクニックを駆使した作品を通じて、誰もが手に取ったことのある馴染み深いこの画材の、歴史と可能性を紹介する内容となった。また、市内文房具店、坂本紙店に協賛を賜り、クレパス、クレヨン、パステルを比較する体験コーナーを設置。子どもから大人まで熱心に絵を描く姿が見られた。関連の催しとして、サクラアートミュージアム主任学芸員、清水靖子氏による講演会と、子ども向け、大人向けそれぞれにクレパスの実技講座を開催。クレパスの魅力を存分に味わえる事業となった。

会 期 2023年4月15日(土)～6月4日(日)
会 場 いわき市立美術館 企画展示室1、2
主 催 いわき市立美術館
協 力 サクラアートミュージアム、株式会社サクラクレパス、株式会社ターレンスジャパン、株式会社アムス

企画協力 産経新聞社
協 賛 坂本紙店
図 録 産経新聞大阪本社編『クレパス誕生90年：クレパス画名作展』産経新聞大阪本社、2015年



●クレパス画名作展 作品リスト

No.	作者	生没年	作品名	制作年	基底材	サイズ(cm)
1	熊谷守一	1880-1977	裸婦	不明	紙	28.6×37.2
2	石井柏亭	1882-1958	踊り子	1950年	紙	50.1×34.3
3	山本鼎	1882-1946	西瓜	不明	紙	19.6×26.6
4	山本鼎	1882-1946	江の浦風景	1934年	紙	50.0×60.1
5	有島生馬	1882-1974	門	不明	紙	20.1×27.5
6	川島理一郎	1886-1971	洋蘭	不明	紙	41.2×31.2
7	小糸源太郎	1887-1978	風景	不明	紙	37.9×45.4
8	小糸源太郎	1887-1978	行春	不明	紙	54.0×46.7
9	梅原龍三郎	1888-1986	人物	不明	紙	27.0×19.0
10	梅原龍三郎	1888-1986	浅間山日没	1950年	紙	22.0×30.0
11	小林和作	1888-1974	伯耆大山の秋	不明	紙	35.0×54.9
12	鍋井克之	1888-1969	バラとミカン	1954年	紙	25.7×35.7
13	足立源一郎	1889-1973	奥日光湯元にて	不明	紙	22.3×27.6
14	寺内萬治郎	1890-1964	緑衣の婦人像	不明	紙	46.2×34.0
15	寺内萬治郎	1890-1964	裸婦	不明	紙	55.0×41.3
16	耳野卯三郎	1891-1974	少女	不明	紙	38.1×28.7
17	須田国太郎	1891-1961	マミジロとモクゲ	不明	紙	36.9×25.4
18	須田国太郎	1891-1961	石膏像	不明	紙	36.4×23.9
19	川口軌外	1892-1966	寺	1951年	紙	33.1×25.8
20	川口軌外	1892-1966	風景	不明	紙	27.1×22.3
21	中山巍	1893-1978	顔	不明	紙	36.5×28.4
22	鈴木千久馬	1894-1980	裸婦	不明	紙	25.5×37.2
23	鈴木千久馬	1894-1980	バラ	不明	紙	35.6×26.0
24	伊原宇三郎	1894-1976	アトリエ	不明	紙	47.4×36.7
25	中村研一	1895-1967	婦人像	不明	紙	64.0×47.3
26	鈴木信太郎	1895-1989	長崎風景	不明	紙	27.6×38.7
27	鈴木信太郎	1895-1989	人形	不明	紙	37.7×27.1
28	林武	1896-1975	裸婦	不明	紙	28.9×18.6
29	林武	1896-1975	花	不明	紙	33.5×24.2
30	岡鹿之助	1898-1978	鉄仙	不明	紙	34.8×25.5
31	田崎廣助	1898-1984	桜島風景	不明	紙	29.5×41.1
32	田崎廣助	1898-1984	阿蘇山の中秋	不明	紙	26.0×37.7
33	伊藤廉	1898-1983	鳩とベコニヤ	不明	紙	25.7×35.8
34	野口彌太郎	1899-1976	上の山の風景	不明	紙	23.5×31.5
35	加山四郎	1900-1972	静物	1950年	紙	38.5×54.4
36	三田康	1900-1968	人形（マリオネット）	不明	紙	54.8×39.3
37	藤川栄子	1900-1983	アネモネ	不明	紙	42.1×32.0
38	宮田重雄	1900-1971	シャンゼリゼ	不明	紙	32.0×41.2
39	朝井閑右衛門	1901-1983	静物	不明	紙	38.0×56.3
40	小川マリ	1901-2006	静物	不明	紙	25.9×35.9
41	中村善策	1901-1983	信濃路	1950年	紙	19.1×24.2
42	中村善策	1901-1983	木	1955年	紙	38.3×28.6
43	仲田好江	1902-1995	静物	不明	紙	39.8×55.1
44	鳥海青児	1902-1972	皿といちじく	不明	紙	27.0×37.3
45	鳥海青児	1902-1972	黄色い人	不明	紙	29.9×38.0
46	三雲祥之助	1902-1982	裸婦	不明	紙	26.8×37.5

No.	作者	生没年	作品名	制作年	基底材	サイズ(cm)
47	倉田三郎	1902-1992	ナポリ風景	不明	紙	32.9×42.9
48	猪熊弦一郎	1902-1993	二人の子ども	不明	紙	52.6×38.7
49	猪熊弦一郎	1902-1993	顔	1950年	紙	39.3×27.8
50	森田元子	1903-1969	バラ	不明	紙	27.7×37.4
51	森田元子	1903-1969	白と赤	不明	紙	34.8×25.2
52	佐伯米子	1897-1972	アマリリス	不明	紙	37.9×56.1
53	小磯良平	1903-1988	婦人像	1951年	紙	40.0×31.4
54	小磯良平	1903-1988	静物とモデル	不明	紙	48.4×63.4
55	大河内信敬	1903-1967	静物	不明	紙	50.5×64.1
56	田村孝之介	1903-1986	イタリヤ人形	不明	紙	50.2×32.9
57	大沢昌助	1903-1997	森	不明	紙	52.3×41.2
58	大沢昌助	1903-1997	子供	不明	紙	38.5×27.3
59	吉原治良	1905-1972	作品Ⅰ	不明	紙	35.7×25.7
60	吉原治良	1905-1972	作品Ⅱ	不明	紙	54.2×38.0
61	三岸節子	1905-1999	花Ⅰ	1940年頃	紙	37.5×27.8
62	三岸節子	1905-1999	花Ⅱ	1963年頃	紙	56.0×38.1
63	村井正誠	1905-1999	茶色と紺	1959年	紙	62.8×48.1
64	村井正誠	1905-1999	踊る人	不明	紙	47.5×36.1
65	宮本三郎	1905-1974	裸婦	1957年	紙	35.4×25.0
66	宮本三郎	1905-1974	バレリーナ	1956年	紙	50.1×32.8
67	難波田龍起	1905-1997	泉	1958年	紙	27.0×38.2
68	難波田龍起	1905-1997	赤と青のコンポジション	不明	紙	56.4×37.7
69	須田剋太	1906-1990	作品	不明	紙	54.3×39.5
70	須田剋太	1906-1990	アブストラクト	1953年	紙	50.8×46.9
71	佐藤敬	1906-1978	金魚	不明	紙	36.4×25.7
72	佐藤敬	1906-1978	裸婦	1950年	紙	25.9×19.0
73	伊勢正義	1907-1985	子ども	1950年	紙	35.8×25.3
74	伊勢正義	1907-1985	婦人像	1953年	紙	47.2×35.8
75	伊藤悌三	1907-1998	婦人像	不明	紙	55.9×37.2
76	伊藤悌三	1907-1998	老人	不明	紙	54.0×39.0
77	山口薫	1907-1968	牛	不明	紙	32.0×41.0
78	伊藤継郎	1907-1994	作品	不明	紙	50.5×33.9
79	脇田和	1908-2005	静物	不明	和紙	24.8×32.6
80	脇田和	1908-2005	小ども	1951年	紙	40.7×31.5
81	末松正樹	1908-1997	コンポジション	不明	紙	30.0×28.7
82	菅野圭哉	1909-1963	ハイデルベルク	1953年	紙	23.6×28.8
83	菅野圭哉	1909-1963	静物	不明	紙	27.3×38.5
84	石川滋彦	1909-1994	パリの雪	不明	紙	27.0×35.7
85	江藤哲	1909-1991	椿	不明	紙	62.0×43.4
86	成井弘	1910-1999	パリ郊外	1955-1956年	紙	28.1×37.2
87	岡本太郎	1911-1996	鳥と太陽	不明	紙	35.6×25.3
88	岡本太郎	1911-1996	虫	不明	紙	38.9×55.4
89	川端実	1911-2001	静物	不明	紙	19.3×27.2
90	津高和一	1911-1995	作品	1987年	紙	50.5×66.0
91	寺田政明	1912-1989	秋の日	1951年	紙	25.9×35.7
92	寺田政明	1912-1989	夢	不明	紙	44.2×31.4
93	杉全直	1914-1994	作品	不明	紙	38.1×54.2
94	萩太郎	1915-2009	無題	不明	カンヴァス	40.9×31.7

No.	作者	生没年	作品名	制作年	基底材	サイズ(cm)
95	梅宮馨四郎	1917-1996	開拓地	不明	紙	38.1×54.0
96	浜田知明	1917-2018	ムッシュー A	不明	紙	44.6×35.6
97	古茂田守介	1918-1960	かぼちゃ	不明	紙	24.1×33.2
98	建畠覚造	1919-2006	作品 I	不明	紙	39.1×27.2
99	建畠覚造	1919-2006	作品 II	1958年	紙	39.1×54.4
100	國領経郎	1919-1999	魚	不明	紙	26.8×37.8
101	國領経郎	1919-1999	作品	1959年	紙	54.2×38.2
102	山下清	1922-1971	花	不明	紙	38.3×35.3
103	山下清	1922-1971	花火	不明	紙	54.4×38.5
104	儀間比呂志	1923-2017	生きる	1957年	紙	54.5×38.0
105	中西勝	1924-2015	青い太陽	不明	紙	38.0×54.0
106	前田常作	1926-2007	銀河光	1978年	紙	46.4×39.0
107	加山又造	1927-2004	薫風	不明	紙	31.0×23.2
108	池田龍雄	1928-2020	バトロール	1957年	紙	54.5×38.5
109	勝呂忠	1926-2010	弱い男	1957年	紙	54.8×39.3
110	大藪雅孝	1937-2016	果実	1996年	紙	27.0×38.0
111	久野和洋	1938-2022	林檎と南天	1996年	紙	32.0×39.0
112	藤岡冷子	1939-	南の風が吹く頃	2004年	紙	26.5×40.5
113	円池茂	1941-	パリ郊外のサクランボ	1996年	紙	36.0×50.5
114	小杉小二郎	1944-	果実図	2014年	紙	21.0×31.5
115	奥西賀男	1945-	ヴェニス朝	2002年	紙	35.5×41.5
116	佐藤泰生	1945-	ヴェニス・ゴンドラ	2004年	紙	52.5×45.5
117	坂口紀良	1948-2019	窓辺の読書	2005年	紙	41.0×31.8
118	田伏勉	1949-	イギリスの庭園	2003年	紙	38.0×45.5
119	福岡通男	1949-	Maschera	1996年	板	27.0×19.5
120	瀧本周造	1951-	緑の扉	2005年	紙	53.0×41.0
121	深井隆	1951-	青空	2004年	紙	25.0×28.0
122	舟越桂	1951-	習作	2001年	紙	39.0×30.0
123	富田有紀子	1958-	赤い長方形	2015年	紙	40.9×24.3
124	鴻池朋子	1960-	Little Wild Things	2015年	皮革	66.0×138.0
125	天明屋尚	1966-	水炎舞	2015年	紙	51.5×39.6
126	福井江太郎	1969-	寧	2014年	紙	53.0×33.3
127	押江千衣子	1969-	すずしろ	2015年	カンヴァス	91.0×91.0
128	神戸智行	1975-	ヒカリノソト	2012年	紙	27.3×45.5
129	入江明日香	1980-	Premices Printaniers 春の兆し	2015年	紙	30.0×30.0
130	服部知佳	1981-	Light of dawn	2015年	紙	30.0×30.0
131	加藤ゆわ	1984-	ハナカンムリ	2012年	紙	32.9×42.2
132	野崎慎	1984-	柔らかな残像	2012年	紙	27.3×45.5
133	絹谷香菜子	1985-	Coexistence Japan	2012年	紙	53.3×39.8

古代エジプト美術館展

先王朝時代からローマ支配時代までの各時代を網羅した「古代エジプト美術館 渋谷」のコレクションを、初めて館外で大規模に公開した国内巡回展。同コレクションは、国内中近東の古美術の収集家として知られる石黒孝次郎氏など著名な所蔵家たちの旧蔵品がベースになっており、国内において質量ともに第一級の内容を誇っている。本展では、ミイラやミイラマスク、木棺、神殿の柱、ツタンカーメンの指輪といった世界的に貴重な遺物や、当時の生活様式がわかる容器や装身具など約200件を展示し、古代エジプトの国家、信仰や死生観、衣食住など巨大文明の一端に触れる好機となった。さらに、過去100年間学術的な調査がほとんどなされてこなかった、エジプト中部にある古王国時代の遺跡メイドウム（マイドゥーム）・ピラミッドの最新調査（2022年）の様子もあわせて紹介し、現在の研究にも焦点をあてた。

会期が夏休み期間に重なっていたことや主催マスコミの積極的な広報の後押しもあり、

市内だけではなく市外からも多くの来館者が訪れ、総入場者数は歴代2位を記録した。関連の催しとして、古代エジプト美術館の菊川匡氏によるギャラリートークをはじめ、講演会、子ども対象ワークショップ、ダンス公演、スライドトークを実施したが、中には希望者多数により全員が参加できなかった催しもあり、古代エジプト人気の高さがうかがえた。

会 期 2023年6月24日(土)～8月20日(日)
会 場 いわき市立美術館 企画展示室1、2
主 催 いわき市立美術館、福島民友新聞社、福島中央テレビ、古代エジプト美術館 渋谷
監 修 ロバート・スティーヴン・ピアンキ(古代エジプト美術館 渋谷 主任学芸員)
学術協力 近藤二郎(早稲田大学 名誉教授)、大城道則(駒澤大学 教授)
企画協力 アートプランニング レイ
協 力 駒澤大学、FARO、関西大学
後 援 エジプト大使館
企画制作 西日本新聞イベントサービス

【図録データ】

編 集 西日本新聞イベントサービス
編集協力 アートプランニング レイ
執 筆 ロバート・スティーヴン・ピアンキ、近藤二郎、大城道則
翻 訳 近藤二郎
撮 影 大屋孝雄
デザイン 佐藤大介(sato design.)
印 刷 西日本新聞プロダクツ
発 行 日 2023年4月8日



●古代エジプト美術館展 出品リスト

No.	作品名	Title	時代	サイズ(cm)	素材
1	カバ牙製男性小像	Small figure made of hippopotamus ivory	先王朝時代・ナカダⅡ期	高さ6.1、幅2.4	カバの牙
2	ナイルの氾濫を象徴するハピ神像	Statuette of Hapy, representing the Nile in inundation	中王国時代・第12王朝	高さ10.8、幅5.5、奥行2.3	ファイアンス
3	アメン神のレリーフ	Relief of god Amun	第3中間期	縦12.1、横5.3、厚さ2.4	石灰岩
4	アメン神の像	Statuette of god Amun	第3中間期	高さ5.4、幅2.1、奥行1.5	琥珀金
5	ムウト女神像	Statuette of goddess Mut	第3中間期～末期王朝時代	高さ13.8、幅4.6、奥行3.1	茶色い石
6	銀製ペクトラル	Silver pectoral	第3中間期	縦2.8、横2.8	銀
7	4つの牡羊の頭を持つ小像	Statuette of four-headed ram	末期王朝～プトレマイオス朝時代	高さ6.8、幅4.2、奥行7.4	青銅
8	6つの牡羊の頭を持つ護符	Amulet of six-headed ram	末期王朝時代	高さ5.3、幅1.0、奥行3.0	ファイアンス
9	オシリス神像	Statuette of god Osiris	末期王朝～プトレマイオス朝時代	高さ21.2、幅5.8、奥行3.8	青銅
10	ホルス神を抱くイシス女神像	Statuette of Isis with Horus the child	末期王朝時代	高さ26.5、幅6.8、奥行7.5	青銅、銀
11	青銅製玉座	Bronze throne	末期王朝時代	高さ14.8、幅9.3、奥行13.7	青銅
12	ワニの上に立つホルス神のステラ	Stele of the child god Horus on crocodiles	プトレマイオス朝時代	縦16.7、横7.9、厚さ5.0	石灰岩
13	子供の神の小像	Statuette of child god	末期王朝～プトレマイオス朝時代	高さ14.6、幅5.2、奥行5.4	青銅
14	ハヤブサ頭のホルス神像	Statuette of god Horus as falcon-headed male deity	末期王朝～プトレマイオス朝時代	高さ37.3、幅6.9、奥行8.8	木、プラスチック、顔料
15	2柱の神を描いたレリーフ	Relief depicting two deities	プトレマイオス朝時代	縦66.0、横65.8、厚さ10.7	石灰岩
16	ハトメヒト女神の護符	Amulet of Hatmehit	末期王朝～プトレマイオス朝時代	高さ7.0、幅1.4、奥行3.0	ファイアンス
17	ハトメヒト女神を象徴するイルカの護符	Amulet in the form of a dolphin representing Hatmehit	末期王朝時代	高さ3.7、幅9.0、奥行1.3	ファイアンス
18	レシェブ神像	Statuette of god Reshep	プトレマイオス朝時代	高さ11.8、幅5.1、奥行2.5	青銅
19	セクメト女神の護符	Amulet of goddess Sekhmet	第3中間期	高さ5.7、幅1.1、奥行3.3	ファイアンス
20	セクメト女神座像	Seated statuette of Sekhmet	第3中間期・第22王朝	高さ21.8、幅7.1、奥行16.2	ファイアンス
21	新年の祭儀用フラスコ	Lentoid-shaped New Year's flask	末期王朝時代・第26王朝	高さ17.7、幅14.8、奥行8.8	ファイアンス
22	ファイアンス製ベス像	Faience Bes	第3中間期	高さ13.5、幅5.3、奥行1.8	ファイアンス
23	ベス神のペンダント	Jewelry pendant of god Bes	プトレマイオス朝時代	縦1.6、横2.9、厚さ0.6	金
24	タウレット女神の護符	Amulet of goddess Taweret	末期王朝～プトレマイオス朝時代	高さ8.0、幅3.7、奥行2.9	ファイアンス
25	聖魚像（オキシリンコス）	Statuette of a sacred fish, Oxyrhynchos	末期王朝時代	高さ13.4、幅3.0、奥行20.0	青銅
26	パタイコスの護符	Amulet of Pataikos	末期王朝～プトレマイオス朝時代	高さ6.7、幅2.9、奥行1.9	ファイアンス
27	魚と蓮の花で飾られた皿	Plate decorated with fish and lotus plants	新王国時代・第18～19王朝	直径11.2	ファイアンス
28	5つのエロティックな小像群	Group of five erotic statuettes	末期王朝～プトレマイオス朝時代	高さ4.2、幅5.5、奥行3.1/ 高さ2.1、幅1.0、奥行3.4/ 高さ3.5、幅1.6、奥行1.5/ 高さ4.5、幅2.4、奥行2.5/ 高さ4.4、幅2.9、奥行2.0	ファイアンス
29	木製のヘラサギ	Statuette of a spoonbill	新王国時代・第18王朝	高さ7.9、幅6.9、奥行20.0	彩色を施した木
30	ウプウアウト神の護符	Amulet of god Wepwawet	古王国時代	高さ3.0、幅0.5、奥行2.3	金

No.	作品名	Title	時代	サイズ(cm)	素材
31	トキの頭部を持つトト神像	Statuette of god Thoth	末期王朝時代	高さ12.2、幅3.1、奥行4.4	ファイアンス
32	アテフ冠を被ったトト神像	God Thoth as ibis-headed deity wearing Atef Crown	末期王朝～プトレマイオス朝時代	高さ38.0、幅11.0、奥行14.2	青銅
33	座ったヒヒの小像	Statuette of seated baboon	末期王朝時代	高さ5.3、幅3.3、奥行4.2	片岩
34	聖牛アピス像	Statuette of Apis bull	末期王朝～プトレマイオス朝時代	高さ3.2、幅2.0、奥行1.5	ファイアンス
35	聖牛アピス像	Statuette of Apis bull	末期王朝～プトレマイオス朝時代	高さ16.7、幅7.8、奥行22.1	彩色を施した木
36	神殿の扉の鍵	Lock for a door of a temple	プトレマイオス朝時代	高さ13.9、幅9.5、奥行40.0	青銅
37	厨子	Shrine	末期王朝時代	高さ49.7、幅20.3、奥行27.4	彩色を施した木
38	ソカル神を表すハヤブサ	Falcon representing god Sokar	プトレマイオス朝時代	高さ14.7、幅5.7、奥行11.9	彩色を施した木
39	葬祭用の厨子を飾っていた4つの円柱	Four columnar elements from a shrine	プトレマイオス朝時代	高さ3.3、直径3.6/高さ3.3、直径3.6/高さ4.2、直径4.1/高さ3.0、直径3.5	[左から3点] ファイアンス [右] ガラス
40	ウラエウス厨子装飾	Uraei frieze	新王国時代・第18王朝	高さ14.0、幅4.0、奥行3.4/高さ14.0、幅4.1、奥行3.5/高さ14.5、幅4.3、奥行3.4	木、ファイアンス、ガラス
41	象嵌用ガラス製ファラオ横顔	Glass inlay in the shape of the face of pharaoh	プトレマイオス朝時代	縦4.0、横2.7、厚さ1.0	ガラス
42	ネメス頭巾を被ったファラオの胸像	Head of pharaoh in Nemes-headress	末期王朝・第30王朝～プトレマイオス朝時代	高さ12.2、幅10.1、奥行5.5	石灰岩
43	赤冠を被ったファラオの頭部	Head of pharaoh in Red Crown	プトレマイオス朝時代	高さ8.7、幅7.5、奥行6.2	プラスター
44	右脚	Right leg and foot	プトレマイオス朝時代	長さ24.0、幅3.5、奥行9.8	プラスター
45	ライオン像	Forepart of a lion	末期王朝時代・第26王朝	高さ15.3、幅5.5、奥行8.1	石灰岩
46	ライオンの頭	Head of a lion	末期王朝・第30王朝～プトレマイオス朝時代	高さ21.0、幅22.0、奥行11.0	プラスター
47	謎の頭部	Enigmatic head	プトレマイオス朝時代	高さ3.7、幅2.9、奥行3.0	磁気をおびた材質
48	セラピス神の頭部	Head of god Sarapis	ローマ支配時代	高さ16.5、幅10.0、奥行7.5	片岩または硬砂岩
49	ヘラクレス像	Statuette of Heracles	ローマ支配時代	高さ11.9、幅9.3、奥行5.1	アラバスター
50	人間の顔の壺	Vase with human face	新王国時代	高さ5.4、幅4.7、奥行4.6	テラコッタ
51	ハヤブサの頭	Head of a falcon	新王国時代・第18～20王朝	高さ16.3、幅10.6	彩色を施した木
52	手拍子と踊りのレリーフ	Tomb relief of singers and dancers	古王国時代・第5～6王朝	縦51.3、横57.5、厚さ2.0	石灰岩
53	女神の頭のアイギス盾	Aegis with head of goddess	第3中間期	縦7.6、横8.6、厚さ3.9	ファイアンス
54	メナト	Menat	末期王朝時代・第26王朝	縦14.0、横6.8、厚さ1.1	ファイアンス
55	メナト形の台座に座る猫の像	Statuette of cat with the base in shape of Menat	末期王朝時代	高さ11.6、幅4.4、奥行8.6	茶色の石
56	ホルスの4人の息子たちの護符とプタハ・ソカル・オシリス神のミイラ	Mummy and coffin for the deity Ptah-Sokar-Osiris with amulets of Four Sons of Horus	末期王朝～プトレマイオス朝時代	[木棺]長さ48.8、幅15.0、高さ13.5	彩色を施した木、麻布、藁、テラコッタ
57	ハヤブサのミイラ	Mummy of a falcon	プトレマイオス朝時代	長さ32.5、幅8.4、高さ6.5	彩色を施した亜麻布、プラスター
58	テラコッタ製オシリス神像	Terracotta statue of Osiris	プトレマイオス朝時代	高さ37.0、幅10.1、奥行8.1	テラコッタ、樹脂
59	ネコの頭部像	Head of a cat	末期王朝～プトレマイオス朝時代	高さ7.8、幅7.6、奥行6.5	青銅

No.	作品名	Title	時代	サイズ(cm)	素材
60	魚のミイラ	Mummified fish	末期王朝～プトレマイ オス朝時代	長さ10.8、幅2.5	
61	ネコのミイラの頭部	Mummified head of a cat	末期王朝～プトレマイ オス朝時代	高さ5.5、幅7.2、奥行10.5	
62	トキを納めた櫃	Reliquary for ibis	末期王朝～プトレマイ オス朝時代	高さ17.9、幅11.3、奥行 30.7	青銅、木製の 胴体（レブリ カ）
63	ワニのミイラの頭に被せたマ スク	Mask for head of mummified crocodile	プトレマイオス朝時代	高さ17.0、幅27.0、奥行 38.0	彩色を施した プラスター
64	サソリ王のパレット	Cosmetic palette of King Scorpion	初期王朝時代・第0王 朝	縦34.5、横10.1、厚さ1.2	硬砂岩
65	壁を飾っていた 24 の建築用 飾板	Set of twenty four architectural plaques used to decorate wall	古王国時代・第3王朝	縦5.8～6.1、横3.6～3.9、 厚さ1.3～1.4	ファイアンス
66	トトメス 4 世の奉納ステラ	Donation stela of Pharaoh Thutmose IV	新王国時代・第18王朝	縦63.5、横35.0、厚さ4.5	石灰岩
67	アメンヘテプ 3 世像	Statuette of Pharaoh Amenhotep III	新王国時代・第18王朝	高さ10.4、横8.2、奥行8.0	石灰岩、プラ スター
68	ライオン狩りを記したアメン ヘテプ 3 世の記念スカラベ	Scarab of Pharaoh Amenhotep III commemorating his lion hunts	新王国時代・第18王朝	縦8.5、横6.1、厚さ2.9	釉薬を施した ステアタイト
69	アクエンアテン王	Pharaoh Akhenaten	新王国時代・第18王朝	縦7.5、横8.0、厚さ4.4	珪岩
70	ネフェルトイティ（ネフェル ティティ）王妃小像断片	Fragment of statuette of Queen Nefertiti	新王国時代・第18王朝	縦17.5、横10.0、厚さ5.0	珪岩
71	アクエンアテン王とアテン神 のレリーフ	Relief of Pharaoh Akhenaten and Aten	新王国時代・第18王朝	縦22.9、横23.0	砂岩
72	アクエンアテン王の宮殿を訪 れたヌビア使節のレリーフ	Relief of Nubian ambassadors at the court of Pharaoh Akhenaten	新王国時代・第18王朝	縦16.0、横19.5、厚さ4.4	砂岩
73	ネフェルトイリ王妃像の断片	Fragment of statue of Queen Nefertari	新王国時代・第19王朝	縦3.3、横2.7、厚さ2.0	ファイアンス
74	メルエンプタハ王の名を刻し たハヤブサの神フルン	God Huron as falcon inscribed for Pharaoh Merneptah	新王国時代・第19王朝	高さ27.7、幅13.8、奥行 19.5	石灰岩
75	王とアトゥム神のレリーフ	Relief with a pharaoh and Atum	第3中間期・第22王朝	縦26.0、横55.5	石灰岩
76	タハルカ王像	Statuette of Taharqa	第3中間期・第25王朝	高さ11.6、幅3.0、奥行2.7	青銅、鍍金
77	容器を捧げるクシュ王国の ファラオ	Statuette of a kneeling Kushite Pharaoh offering pots	第3中間期・第25王朝	高さ8.6、幅3.7、奥行3.6	金箔を施した ブロンズ
78	女性小像頭部	Statuette of a female head	第3中間期・第25王朝	高さ4.7、幅4.2、奥行3.6	青銅
79	腰布を纏ったファラオ像	Torso of pharaoh wearing kilt	末期王朝時代・第30王 朝	高さ12.9、幅7.3、奥行7.4	石灰岩
80	クサリヘビとヤギの角を付け たファラオ頭部	Head of pharaoh with viper and horns of goat	末期王朝時代・第30王 朝～プトレマイオス朝 時代	高さ9.8、幅6.4、奥行5.8	石灰岩
81	両面に彫られたレリーフ	Two-sided relief	末期王朝時代・第30王 朝～プトレマイオス朝 時代	[表]縦8.1、横12.0、厚さ 2.2	石灰岩
82	王像頭部習作	Sculptor model of a pharaoh	末期王朝時代・第30王 朝またはプトレマイオ ス朝時代	高さ12.0、幅7.4、奥行6.9	石灰岩
83	プトレマイオス 2 世とされる 王の胸像	Bust of pharaoh suggested to represent Ptolemy II	プトレマイオス朝時代	高さ23.5、幅22.0、奥行 17.0	石灰岩
84	王像頭部	Head of a pharaoh	末期王朝時代・第30王 朝またはプトレマイオ ス朝時代	高さ10.5、幅8.5、奥行8.5	石
85	プトレマイオス 2 世の神殿の レリーフ	Relief of Ptolemy II	プトレマイオス朝時代	縦79.8、横59.5、厚さ6.5	石灰岩

No.	作品名	Title	時代	サイズ(cm)	素材
86	プトレマイオス2世フィラデルフィスの神殿の柱の基部	Column drum for temple inscribed for Ptolemy II Philadelphus	プトレマイオス朝時代	高さ70.5、直径138.0	石灰岩（ブラスターを施した痕跡）
87	神が描かれた神殿のレリーフ	Relief of deity	プトレマイオス朝時代	縦14.3、横29.7、厚さ7.4	砂岩
88	王像レリーフ	Relief with a pharaoh	プトレマイオス朝時代以降	縦34.0、横27.0、厚さ4.0	砂岩
89	神殿のレリーフ（3行の碑文）	Three columns of inscription from temple relief	プトレマイオス朝時代	縦18.2、横20.9、厚さ4.1	石灰岩
90	クレオパトラ7世のコイン	Coin of Cleopatra VII	プトレマイオス朝時代・紀元前1世紀後半	直径2.7	青銅
91	女性小像	Female statuette (Upper part)	中王国時代	高さ4.3、幅3.4、奥行3.0	花崗岩
92	貴婦人の頭部像	Head of an elite woman	新王国時代・第18王朝	高さ5.8、幅4.5、奥行4.2	彩色を施した石灰岩
93	標章を持った胸像	Bust of standard bearer	新王国時代・第19～20王朝	高さ17.3、幅15.5、奥行8.5	花崗岩
94	タミトの像	Statuette of Ta-Mit	末期王朝時代・第25王朝	高さ29.0、幅11.5、奥行7.5	花崗岩
95	役人の胸像	Bust of official	末期王朝時代・第26王朝	高さ24.5、幅13.5、奥行9.0	硬砂岩
96	厨子を捧げる跪いた役人の肖像	Statuette of a kneeling official offering a naos, or shrine	末期王朝時代	高さ14.0、幅7.8、奥行8.7	花崗岩
97	書記像	Scribal statuette (Upper part)	末期王朝時代・第30王朝	高さ11.0、幅7.5、奥行4.8	斑岩
98	エリート高官の像	Statuette of an elite official	プトレマイオス朝時代	高さ5.4、幅5.4、奥行3.7	黒色花崗岩
99	貝の形の容器	Vase in the form of shell	初期王朝時代	高さ3.5、幅7.7	黒色花崗岩
100	持ち手と反り返った口縁を持つ楕円形の壺	Ovoid jar with lug handles and an everted lip	初期王朝時代・第1王朝	高さ11.4、幅9.7、奥行8.9	玄武岩
101	鉢	Bowl	初期王朝時代・第1王朝	高さ10.5、幅19.6	斑岩
102	首の細い壺	Slender, collared beaker	古王国時代	高さ11.4、幅3.6	アラバスター
103	蓋のあるコホル容器	Kohl pot with Lid	中王国時代	高さ4.4、幅3.3	硬石膏
104	コホル壺	Kohl pot	中王国時代	高さ3.1、幅4.3	黒曜石
105	台座のあるアザミ型（あるいはトランペット型）の蓋付き壺	Footed, thistle, or trumpet-shaped vase with lid	新王国時代	高さ6.8、幅5.6（蓋：高さ0.4、直径5.9）	アラバスター
106	袋型の壺	Bag-shaped vessel	新王国時代	高さ8.2、幅7.4	蛇紋石
107	双耳把手壺	Two handled flask	新王国時代・第18王朝末～19王朝	高さ8.9、幅9.0	ファイアンス
108	豪華な鉢のかげら	Fragment of a deluxe bowl	新王国時代・第18王朝	縦8.2、横5.3、厚さ0.5	モザイクガラス
109	開花した蓮を施した盃	Chalice designed in the form of an open blue lotus flower	第三中間期・第22王朝	高さ13.5、直径7.2	ファイアンス
110	ファイアンス製把手付扁壺	Blue faience flask with handles	新王国時代・第19王朝	高さ8.5、幅5.9、奥行4.3	ファイアンス
111	アラバストロン	Alabastron	末期王朝～プトレマイオス朝時代	高さ26.7、幅8.8	縞状アラバスター
112	レイヨウの化粧用容器	Cosmetic container in the form of an antelope	新王国時代	縦7.6、横12.9、厚さ2.0	凍石
113	2羽のガチョウの化粧用容器	Cosmetic container in the form of two geese	新王国時代	縦7.0、横5.6、厚さ1.4	凍石
114	魚の形の化粧用容器	Cosmetic container in the form of a fish	新王国時代	縦13.0、横7.8、厚さ2.3	黒石
115	開花した蓮の化粧用容器	Cosmetic container in the form of an open lotus	新王国時代	縦6.1、横3.7、厚さ0.6	ファイアンス

No.	作品名	Title	時代	サイズ(cm)	素材
116	鏡	Mirror	新王国時代	縦7.0、横5.6、厚さ1.4	青銅、金箔
117	枕	Headrest	新王国時代	高さ21.9、幅29.2、奥行9.5	木製
118	キュービット尺（部分）	Fragment of a cubit rod	新王国時代	最大辺4.6	茶色の石
119	複合型柱頭の化粧箱	Cosmetic box in the form of a composite capital	プトレマイオス朝時代	縦8.7、横8.6、厚さ3.6	エジブシャンブルー
120	聖牛アピス（プタハ神）を描いたモザイクガラス	Plaque depicting Apis bull and god Ptah	プトレマイオス朝時代	縦2.0、横2.5、厚さ0.3	モザイクガラス
121	書記の守護神トトを象徴するトキを描いたモザイクガラス	Two plaques depicting an ibis, a hypostasis of Thoth, god of wisdom and patron of scribes	プトレマイオス朝時代	縦1.9、横1.9、厚さ0.5/ 縦1.8、横1.9、厚さ0.7	モザイクガラス
122	書記のインク壺	Scribe's inkwell	末期王朝～プトレマイオス朝時代	縦3.1、横5.6、厚さ2.3	ファイアンス
123	レリーフ装飾のある容器	Vessel decorated with relief	ローマ支配時代	高さ16.4、幅13.0	ファイアンス
124	ヒヒと水を撒いた庭のヤシの木を描いたオストラコン	A figural ostrakon, depicting a palm tree in a watered garden accompanying by a baboon	新王国時代・第18～20王朝	縦17.0、横8.1、厚さ3.0	彩色を施した石灰岩
125	猫とネズミを描いたオストラコン	Figural ostrakon depicting a cat and mouse	新王国時代・第19～20王朝	縦6.9、横8.5、厚さ2.1	石灰岩、黒インク
126	5匹のカエル	Five figurines of frogs	新王国時代後期	最大：縦4.7、横4.2、厚さ2.0	ラピスラズリ、ファイアンスなど
127	人間の頭を持つ猫の姿の護符	Amulet in the form of a human-headed cat	第3中間期	高さ3.8、幅1.1、奥行2.9	ファイアンス
128	指輪	Finger rings	新王国時代	直径2.0/直径2.0/直径1.8/直径2.1/直径2.0	ファイアンス
129	指輪	Finger rings	第3中間期	直径2.4、幅1.5/直径2.4、幅2.0	ファイアンス
130	耳飾り	Earring	新王国時代・第18王朝	最長3.0、最大直径1.7	ガラス、ファイアンス、アラバスター
131	花をモチーフにした胸飾り	Strands from a broad collar with floral elements	新王国時代	長さ25.0	ファイアンス
132	首飾りとして使用された花のペンダント	Floral pendants from necklaces	新王国時代・第18王朝末期	縦2.8、横1.5/ 縦2.7、横1.7	ファイアンス
133	ベス神のペンダントを飾った首飾り	Necklace with Bes-image pendants	新王国時代	長さ38.5	ファイアンス
134	首飾り	Necklace	中王国～プトレマイオス朝時代	長さ45.5	アメジスト、水晶、プレチア、紅玉髓、ファイアンス
135	心臓形の3つのペンダントを付けたメロン型ビーズの首飾り	Necklace with faceted, "Melon" beads and three heart-shaped pendants	ファイアンスビーズ：新王国時代・第18王朝末期 心臓形の護符：末期王朝時代	長さ45.5	ファイアンス
136	ウジャト（聖なる眼）を付けたビーズの首飾り	Necklace with beads and Wadjet, or sacred eye pendants	新王国～末期王朝時代	長さ35.0	紅玉髓、ファイアンス、銀、金
137	首飾り	Necklace	ローマ支配時代	長さ35.0	金、エメラルド、真珠、水晶
138	雫型ビーズと丸いビーズの首飾り	Necklace with tear-drop designed and ball beads	新王国時代・第18王朝	[雫型ビーズ]長さ3.6、幅0.5 [円形ビーズ]直径0.5	ガラス
139	アイビーズの首飾り	Eye-beads necklace	新王国時代・第19～20王朝	長さ50.0	ガラス

No.	作品名	Title	時代	サイズ(cm)	素材
140	ゴダード博士とジョセフィン・デュボア夫妻旧蔵の首飾り	Necklace from the Dr. Goddard and Josephine Dubois Collection	新王国時代	長さ53.0	ガラス、金
141	ゴダード博士とジョセフィン・デュボア夫妻旧蔵の首飾り	Necklace from the Dr. Goddard and Josephine Dubois Collection	新王国時代	長さ49.0	金、ラピスラズリ、紅玉髓、長石、ファイアンス
142	ゴダード博士とジョセフィン・デュボア夫妻旧蔵の首飾り	Necklace from the Dr. Goddard and Josephine Dubois Collection	新王国時代	長さ41.5	紅玉髓
143	ゴダード博士とジョセフィン・デュボア夫妻旧蔵の首飾り	Necklace from the Dr. Goddard and Josephine Dubois Collection	新王国時代	長さ53.0	紅玉髓、ラピスラズリ、トルコ石、碧玉、金
144	ゴダード博士とジョセフィン・デュボア夫妻旧蔵の首飾り	Necklace from the Dr. Goddard and Josephine Dubois Collection	新王国時代	長さ51.0	ファイアンス
145	少女のミイラ（頭部）、ミイラの左足	Head of a mummified girl / Left foot of a mummified girl	プトレマイオス朝時代	[頭部]高さ23.0、幅16.0、奥行15.0 [足部]高さ10.5、幅5.0、長さ14.5	
146	9つの護符のセット	Set of nine amulets	末期王朝時代	高さ4.0	ファイアンス
147	ビーズとテラピアの首飾り	Necklace with beads and tilapia elements	新王国時代	長さ8.5	金
148	スカラベ	Scarab	新王国時代	縦7.5、横5.1、厚さ0.9	ラピスラズリ
149	スカラベ	Scarab	末期王朝時代・第26王朝	縦4.3、横3.4、厚さ1.6	斑岩
150	スカラベ	Scarab	新王国時代・第18王朝	縦7.1、横4.8、厚さ2.8	蛇紋石
151	カバ頭のスカラベ	Hippopotamus headed scarab	末期王朝時代	縦2.1、横1.4、厚さ1.3	赤鉄鉱
152	ベヌウ鳥を描いた心臓護符	Heart amulet (Benu-bird)	新王国時代以降	縦4.7、横4.0、厚さ1.8	長石
153	人間の頭の心臓護符	Human-headed heart amulet	新王国時代・第19～20王朝	縦10.0、横4.9、厚さ3.8	アラバスター
154	パー（人頭の鳥）の護符	Amulet of a Ba-bird	プトレマイオス朝時代	縦1.5、横4.1、厚さ0.3	様々な材質の象嵌を施した銀
155	葬送用マスク	Funerary mask	プトレマイオス朝時代	高さ45.0、幅24.5、奥行27.0	彩色を施したカルトナージュ
156	ミイラマスク	Mummy mask and covers	プトレマイオス朝時代	[マスク]縦46.0、横22.5 [胸部]縦20.5、横26.0 [腹部]縦13.5、横23.5 [脚部]縦25.0、横9.0 [足部]縦7.5、横18.0、奥行20.0	彩色を施したカルトナージュ
157	覆い	Shroud	プトレマイオス朝時代	縦64.0、横28.4	彩色を施したバビルス
158	王の石棺と思われるレリーフ	Fragment of a relief panel perhaps from a royal sarcophagus	新王国時代・第19～20王朝	縦29.0、横25.8、厚さ7.7	赤色花崗岩
159	ミイラ作りの神アヌビス像	Statuette of Anubis, god of embalming	第3中間期・第21～22王朝	高さ27.5、幅11.3、奥行54.0	彩色を施した木
160	ハヤブサの小像	Statuette of a falcon	末期王朝～プトレマイオス朝時代	高さ19.0、幅8.1、奥行19.5	彩色を施した木
161	木棺の側面パネル	Wooden panel from a side of a coffin	第3中間期・第25王朝～末期王朝時代・第26王朝	縦40.0、横177.0	彩色を施した木、象嵌

No.	作品名	Title	時代	サイズ(cm)	素材
162	人型木棺	Anthropoid coffin	プトレマイオス朝時代 初期	長さ196.0、幅80.0、高さ 50.0	彩色を施した 木
163	棺の頭と胸の部分	Upper chest and head from a Sarcophagus	末期王朝時代	高さ65.2、幅59.8、奥行 31.0	彩色を施した 木
164	棺のパネル	Panel from a Sarcophagus	ローマ支配時代	縦23.8、横43.3	彩色を施した 木
165	カノボス容器の蓋	Lid from canopic jar	新王国時代・第18王朝	高さ10.8、幅11.8、奥行 11.5	彩色を施した テラコッタ
166	カノボス容器の3つの蓋	Three lids from canopic jars	新王国時代・第18王朝	高さ11.0、幅12.0	彩色を施した テラコッタ
167	カノボス容器（ケベフセヌウ エフ）	Canopic jar (Qebehsenuef)	新王国時代・第19王朝 ～第3中間期	高さ33.0 [蓋]直径25.0	石灰岩
168	カノボス容器の蓋（ケベフセ ヌウエフ）	Lid from a canopic jar (Qebehsenuef)	末期王朝時代・第26王 朝	高さ10.8、直径14.5	石灰岩
169	アクエンアテン王のシャブ ティ像	Shabti of Pharaoh Akhenaten	新王国時代	高さ5.8、幅6.5、奥行5.8	珪岩
170	セティ1世王のシャブティ像	Shabti of Pharaoh Sety I	新王国時代・第19王朝	高さ19.0、幅5.1、奥行3.3	瀝青で覆った 木
171	アメンウアフのシャブティ像	Shabti of Amenwah	新王国時代・第19～20 王朝	高さ14.0、幅5.3	ファイアンス
172	ネスタネブイシェルのシャ ブティ像	Shabti of Nestanebisheru	第3中間期・第21王朝	高さ14.5、幅5.8、奥行3.3	ファイアンス
173	シャブティ像	Shabti	第3中間期	高さ16.2、幅5.5、奥行4.2	彩色を施した アラバスター
174	タハルカ王のシャブティ像	Shabti of the Kushite Pharaoh Taharqa	第3中間期・第25王朝	高さ23.7、幅9.4、奥行4.4	花崗岩
175	ヘカエムサエフのシャブティ 像	Shabti of Hekaemsaef	末期王朝時代・第26王 朝	高さ17.6、幅4.5、奥行3.6	ファイアンス
176	（アメン）レク？のシャブティ 像	Shabti of (Amen)rekh?	末期王朝時代	高さ17.4、幅5.4、奥行4.1	ファイアンス
177	ホルメスのシャブティ像	Shabti of Hormose	末期王朝時代	高さ17.7、幅5.1、奥行3.2	ファイアンス
178	アクネチュルのシャブティ像	Shabti of Aqntjer	末期王朝時代	高さ17.8、幅5.2、奥行3.9	ファイアンス
179	ヒビ頭のシャブティ像	Baboon-headed shabti	末期王朝時代	高さ17.8、幅5.2、奥行3.9	ファイアンス
180	死者の書のバビルス断片（蓮）	Fragment from the book of the dead (Lotus)	新王国時代・第18王朝	縦6.7、横14.5	彩色を施した バビルス
181	死者の書のバビルス断片（ワ ニとヘビ）	Fragment from the book of the dead (Nile crocodiles and a snake)	新王国時代～第3中間 期	縦8.7、横11.5	彩色を施した バビルス
182	死者の書のバビルス断片（イ チジクの女神）	Fragment from the book of the dead (Sycamore tree goddess)	第3中間期	縦15.5、横9.7	彩色を施した バビルス
183	亜麻布に描かれた呪文	Funerary spells written on linen	プトレマイオス朝時代	縦6.3、横42.5	亜麻布、黒イ ンク
184	牛の生贄のレリーフ	Relief of sacrifice of bulls	古王国時代	縦21.7、横39.1、厚さ4.9	石灰岩
185	労働者のレリーフ	Relief of laborer	古王国時代	縦27.0、横29.0	彩色を施した 石灰岩
186	供物を運ぶ者のレリーフ	Relief of offering bearer	古王国時代	縦11.2、横15.4、厚さ4.0	彩色を施した 石灰岩
187	センあるいはチェネニと呼ば れる貴族のレリーフ	Relief of elite official named Sen also called Tjeneny	古王国時代～第1中間 期	縦26.5、横26.5	彩色を施した 石灰岩
188	貴族女性の墓のレリーフ	Tomb relief of elite woman	中王国時代・第11王朝	縦11.7、横11.8、厚さ3.5	石灰岩
189	朗誦神官クヌムのレリーフ	Relief depicting the lector priest Khnum	古王国時代末期～第1 中間期	縦19.3、横23.5、厚さ6.1	彩色を施した 石灰岩
190	供物を運ぶ男性のレリーフ	Tomb relief with an offering bearer	古王国時代末期～第1 中間期	縦36.3、横21.7、厚さ6.4	彩色を施した 石灰岩

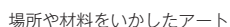
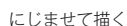
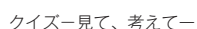
No.	作品名	Title	時代	サイズ(cm)	素材
191	貴婦人の彩壁画	Wall painting fragment of a lady	新王国時代・第18王朝	縦30.0、横23.0	彩色を施した プラスター
192	朗誦神官の彩壁画	Wall painting of a lector priest	新王国時代・第18王朝	縦14.0、横13.0	彩色を施した プラスター
193	供物を運ぶ男性の彩壁画	Wall painting of offering bearers	新王国時代・第18王朝 末期～第19王朝初期	縦19.2、横28.5	彩色を施した プラスター
194	小型ステラ	Stela	新王国時代・第18王朝	縦15.8、横11.8、厚さ4.5	彩色を施した 石灰岩
195	奉納場面のレリーフ	Relief of an offering scene	新王国時代・第18王朝 末期～第19王朝初期	縦43.5、横34.0	石灰岩
196	2人のセム神官	Two Sem-priests	新王国時代・第19～20 王朝	縦26.5、横18.4	彩色を施した プラスター
197	バクエンラーネフの墓のレ リーフ	Relief from tomb of Bakenrenef	末期王朝時代・第26王 朝	縦23.5、横98.7	彩色を施した 石灰岩
198	ヒエログリフが刻まれたレ リーフ	Fragmentary hieroglyphic inscription	末期王朝時代	縦21.5、横24.6、厚さ4.2	彩色を施した 石灰岩
199	木の下にいる被葬者のレリー フ	Relief of tomb owner under boughs of tree	末期王朝時代・第26～ 30王朝	縦25.0、横57.1、厚さ5.7	石灰岩
200	ギリシア・ローマ期のステラ	Greco-Roman stela	プトレマイオス朝末期 ～ローマ支配時代初期	縦28.4、横18.0	彩色を施した 石灰岩

見て・考えて・表現して—体験する現代アート

会場では、作品をじっと見つめる親子、作品を前にいろいろと話し合う家族、展示作品をヒントに夢中で自分の作品を作る子どもたちなど、普段の展示室ではなかなか見られない姿を多く見ることができた。アンケートでも「子どもも身近にアートを感じることができた。」、「現代アートが、とても身近に感じた。」、「一方通行ではなく体験できる面白い企画だと感動しました。」などの好意的な感想が多く寄せられ、来館者の満足度も高かった。

主 催 いわき市立美術館

この他、催し物としてパッケージクラフト作家 高橋和真氏によるワークショップ「パッケージクラフトに挑戦」を開催し、こちらは多くの参加者を得て好評に終わることができた。



●体験！いわ美Ⅱ 見て・考えて・表現して—体験する現代アート 体験リスト

No.	プログラム名	解説と内容
1	本当に見てるかな？	「白い作品」と「黒い作品」。 「よく見て」、「感じて」、「考える」と、ただの「白い作品」「黒い作品」ではないことが分かります。 この展覧会の「見る」は、「よく見て」、「感じて」、「考える」こと。他の作品も、この「見る」という気持ちを大切にしていってください。 ◎「白い作品」は、何が描かれているかよく観察して気づき、「黒い作品」は、よく見てどんな特徴があるか考える内容。
2	クイズ—見て、考えて—	作品を見て、材料、作者を当てるアートクイズ。よく見て、感じて、考えれば、解けるクイズです。難しいと感じた時は、ワークシートやパネルのヒントを見てください。 ◎会場に用意されたワークシートに答えを書いて自己採点する形式。作品をよく見て、考え、ヒントを見れば答えらえる内容となっている。
3	謎！文字がアートになる	文字だけの作品があります。なぜ、文字だけなのにアート作品になっているのでしょうか。その理由を、自分なりに推理して付箋に書いて、他の人とたちと共有しましょう。 ◎コンセプトアートを見て、そのコンセプトを推理し付箋に書いて共有する。最後に、それぞれの作品の解説を掲示し作品の理解を深めてもらう内容。
4	水をどうあらわす？	透明で形のない水。その水を作家たちはいろいろな描き方で表現しています。ここでは、3人の作家の水の表現を見て、自分なりの水を表現してみましょう。 ◎様々な表現方法を見て、色鉛筆で自分なりの水を描く活動。
5	無限にひろがる	フォンタナは、カンヴァスにナイフで切れ目を入れた作品を制作しています。切れ目を入れ空間を生み出し、絵画が平面の枠を超え、無限にひろがり、芸術に新しい世界が生まれることを願っていました。彼の願いである平面から空間が無限にひろがっていく世界を体験しましょう。 ◎色画用紙にハサミで切れ目を入れたり、折り曲げたりしながら、紙のレリーフを作る。
6	にじませて描く	下地を塗っていないカンヴァス（綿布）に薄く溶いた絵具をにじみ込ませて描く「ステイニング」という技法があります。1952年にフランケンサラーがはじめ、モーリス・ルイスや丸山直文などもこの技法を使って描いています。 絵具がぼんやりとにじんだり混ざりあったりする作品を見て、この技法を体験しましょう。 ◎にじませる方法を使って、布製のアートバッグに絵や模様を描く活動。
7	違いはあるけど、作家の想いは同じ	4人の作家が、炭坑で働いていた大工さんをモデルにして描いたり、作ったりしています。 描き方や作り方は少しずつ違っていますが、大工として長い間一生懸命に働いてきた感じやその人柄を、どの作品からも感じとることができます。 この4つの作品をヒントに、素朴で真面目な大工さんを描いてみましょう。 ◎4つの作品をヒントに「真面目な大工さん」を鉛筆を使って描く。
8	触れて見る	手袋をつけて、ブロンズ彫刻を目を閉じて触ってみよう。 凸凹の感じ、塊の感じ、動きやバランスを感じてみましょう。 そして、触れて見た感覚を大切に、小さな彫刻作品を作りましょう。 ◎「こちよ形」をテーマに、アルミホイルをちぎったり、丸めたり、金属板に擦ったりしながら、小さな彫刻作品をつくる。
9	何が起きているかな	「この作品の中では何が起きていますか？それはなぜですか。」 作品の中で起きていることを自分なりに考え、まわりの人と共有しましょう。 ◎作品の中で起きていることと、その理由を付箋に書いて他の人たちにってもらい交流する内容。
10	場所や材料をいかしたアート	場所や空間に材料やオブジェを配置して、その場所や空間全体を作品にするインスタレーションという表現方法があります。ここでは、3人の作家の記録写真やシルクスクリーンを見て、インスタレーションを体験しましょう。 ◎カーペットや展示台で構成された黒い空間に紙コップを並べたり、積み上げたりしてインスタレーション体験をする。
11	その時の形をのこす	イヴ・クラインは《人体測定 ANT66》で、画面にモデルを寝かせ、その上から絵具を吹き付けて人の形を定着させました。高松次郎は《赤ん坊の影》で、壁面に映し出される赤ん坊の影を絵具で画面に定着させました。 画面の上に本当の人はいないけれど、人がいたことが分かります。この不思議な関係を、実際に自分の体の輪郭をなぞってもらって体験しましょう。 ◎等身大ホワイトボードに自分の体の形をペンでなぞり、そこに人がいたことが分かるようにする活動。

●体験！いわ美Ⅱ 見て・考えて・表現して—体験する現代アート 出品リスト

No.	作品名	作家名	制作年	技法・材料
1 本当に見てるかな？				
1	タブロー形式の作品 1-347	野村和弘	1989-	アクリル絵の具・カンヴァス、木枠
2	タブロー形式の作品 1-349	野村和弘	1989-	アクリル絵の具・カンヴァス、木枠
3	Untitled	村上友晴	1982	油彩・カンヴァス
2 クイズ—よく見て、感じて、考えて—				
4	笑う幼児	駒井哲郎	1973	アクアチント・紙
5	石を彫ることは川になることである	ジュゼッペ・ペノーネ	1981	油性インク、鉛筆・紙
6	海の石のように山の石を彫る	ジュゼッペ・ペノーネ	1981	鉛筆、コーヒー・紙
7	昼と夜	M. C. エッシャー	1938	木版・紙
8	滝	M. C. エッシャー	1961	リトグラフ・紙
9	登って降りて	M. C. エッシャー	1947	リトグラフ・紙
10	笑、笑、笑、笑	最上壽之	1963	木
11	流れる星のサーカス 17 眠れ、よい子よ	ジョルジュ・ルオー	1935	アクアチント・紙
12	流れる星のサーカス 2 黒いピエロ	ジョルジュ・ルオー	1935	アクアチント・紙
13	女の顔	パブロ・ピカソ	1962	リノカット・紙
14	草上の昼食	パブロ・ピカソ	1962	リノカット・紙
15	サーカス 22	マルク・シャガール	1967	リトグラフ・紙
16	サーカス 23	マルク・シャガール	1967	リトグラフ・紙
17	版画集「JAZZ」8 イカロス	アンリ・マティス	1947	ステンシル・紙
18	版画集「JAZZ」11 空中ブランコの曲芸師チーム	アンリ・マティス	1947	ステンシル・紙
3 謎！文字がアートに				
19	OCT. 19, 1989	河原温	1989	アクリル彩・カンヴァス、新聞紙・ボール紙ケース
20	MAY. 10, 1990	河原温	1990	アクリル彩・カンヴァス、新聞紙・ボール紙ケース
21	日本語の文字	高松次郎	1970	オフセットプリント・紙
22	英語の単語	高松次郎	1970	オフセットプリント・紙
4 水をどうあらわす？				
23	水滴 J. T. 83001	金昌烈	1979	油彩・カンヴァス
24	線で描かれたリトグラフの水	デイヴィッド・ホックニー	1978	リトグラフ・紙
25	線とクレヨンで描かれたリトグラフの水	デイヴィッド・ホックニー	1978	リトグラフ・紙
26	線とクレヨンとブルーの薄い染料で描かれたリトグラフの水	デイヴィッド・ホックニー	1978	リトグラフ・紙
27	線とクレヨンと二色の薄いブルーの染料で描かれたリトグラフの水	デイヴィッド・ホックニー	1978	リトグラフ・紙
28	網の目を目指す波	田口安男	不詳	鉛筆・紙
29	波	田口安男	不詳	鉛筆、水彩・紙
30	波	田口安男	2006	鉛筆、水彩・紙
31	波の手踊り	田口安男	不詳	鉛筆・紙
5 無限にひろがる				
32	作品	ルーチョ・フォンタナ	不詳	リトグラフ・紙
33	空間概念・期待	ルーチョ・フォンタナ	1959	油彩・カンヴァス
6 にじませて描く				
34	青い闘技場	ヘレン・フランケンサラー	1966	アクリル彩・カンヴァス
35	GRAY	丸山直文	1992	アクリル彩・綿布
36	現象 野がちょうの叫び	ポール・ジェンキンス	1964	油彩・カンヴァス

No.	作品名	作家名	制作年	技法・材料
37	現象 33 のスパン	ポール・ジェンキンス	1964	油彩・カンヴァス
38	Gamma Beta	モーリス・ルイス	1960	アクリル彩・カンヴァス
7 違いはあるけど、作家の想いは同じ				
39	常磐の大工	佐藤忠良	1956	セメント
40	炭坑にて 8	中谷泰	1956	鉛筆・紙
41	炭坑の人	鳥居敏文	1956	鉛筆・紙
42	大工	西常雄	1956	サインペン、水彩・紙
8 触れて見る				
43	孫	赤堀信平	1963	ブロンズ
44	ゴーレム 21	黒川弘毅	1986	ブロンズ
45	ゴーレム 22	黒川弘毅	1986	ブロンズ
46	ゴーレム 23	黒川弘毅	1986	ブロンズ
47	ゴーレム 24	黒川弘毅	1987	ブロンズ
9 何が起きているかな				
48	横たわる母と子	ヘンリー・ムーア	1979	水彩、クレヨン・紙
49	新聞雑報	ビエール・アレシンスキー	1959	油彩・カンヴァス
50	ジョーと緑の窓	デイヴィッド・ホックニー	1979	リトグラフ・紙
10 場所や材料をいかしたアート				
51	コンストラクション・サイト・プロジェクト 「ノヴェ・デ・ジュルホ・カサパーヴァ」 3-1 フォトドキュメント 1	川俣正	1994	ゼラチンシルバープリント・ パネル
52	〃 3-2 フォトドキュメント 2	川俣正	1994	ゼラチンシルバープリント・ パネル
53	〃 3-3 フォトドキュメント 3	川俣正	1994	ゼラチンシルバープリント・ パネル
54	〃 4 カラーフォトパネル	川俣正	1994	チバクロームプリント・パネ ル
55	ヴィットリオ・エマヌエレ広場の梱包された記念碑 1	ヤヴァチェフ・クリスト	1975	リトグラフ、コラーージュ・紙
56	ヴィットリオ・エマヌエレ広場の梱包された記念碑 6	ヤヴァチェフ・クリスト	1975	写真
57	ヴィットリオ・エマヌエレ広場の梱包された記念碑 7	ヤヴァチェフ・クリスト	1975	写真
58	位相-大地	関根伸夫	1986	シルクスクリーン・紙
11 その時の形をのこす				
59	赤ん坊の影	高松次郎	1980	アクリル彩・カンヴァス
60	人体測定 ANT66	イヴ・クライン	1960	顔料、合成樹脂・カンヴァス に貼った紙

民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある

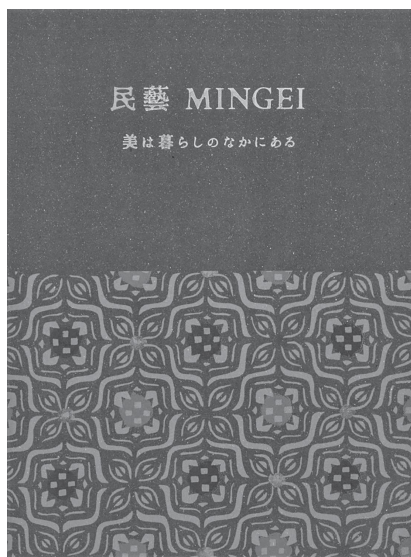
思想家・柳宗悦が約100年前に提唱した、民衆の生活のなかに美を見出す思想「民藝（民衆的工藝）」を紐解く展覧会。「衣・食・住」をテーマに日本民藝館の所蔵品を中心とした約150件の民藝の品々を展示した。柳が民藝の品々を実生活の部屋のように展示した「生活展」（日本民藝館、1941年）の再現展示や、国内外の民藝の品々の紹介、現在にも続く民藝の産地を取材し、継承された手仕事の品々やその作り手たちを紹介する展示に加え、ロビーでは現在の民藝ブームに大きな役割を果たしてきたテリー・エリス、北村恵子（MOGI Folk Art ディレクター）による現代のライフスタイルと民藝を融合したインスタレーションを展示し、民藝の空間的な広がり

と時間的な広がり展望するような展覧会とした。

アンケートなどによるとかねてより民藝や日用品に関心のあった来場者も多く、1階の特設ショップにも多くの人が訪れた。また、協賛のクリナップのキッチンテーブルにショップで販売している食器をディスプレイすることで、協賛社製品の紹介とショップへの導入とした。

関連事業として、展覧会監修者の森谷美保氏による講演会、岩手の民藝「鳥越竹細工」の作家・柴田恵氏による公開制作、福島民藝「三春人形」の作家・橋本彰一氏によるワークショップを開催し、多くの参加者が集った。

会 期 2023年10月28日(土)～12月17日(日)
会 場 いわき市立美術館 企画展示室1、2およびロビー
主 催 いわき市立美術館、福島民報社、福島放送、朝日新聞社、東映
特別協力 日本民藝館
協 力 静岡市立芹沢銈介美術館、カトーレック
協 賛 クリナップ
図 録 『民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある』朝日新聞社、東映、2023年



●民藝 MINGEI 出品リスト

所蔵について

A：日本民藝館 B：静岡市立芹沢銈介美術館 C：個人蔵 D：福島県立博物館

No.	作品・資料名	作者名	制(製)作地(現在地名)	制(製)作年代	技法・材質	所蔵
-----	--------	-----	--------------	---------	-------	----

暮らしのなかの民藝—美しいデザイン Mingei in Daily Life: Beautiful Design

1 「衣」を装う

II-1-1	裂織丹前（さきおりたんぜん）		越前（福井）	江戸-明治時代 19世紀	裂織・木綿、絹	A
II-1-3	菊に桐文被衣（きくにきりもんかづき）		東北地方	江戸時代 19世紀	麻	B
II-1-6	菱刺衣裳（ひしざしいしょう）		南部地方（青森）	大正時代 1910-20年代	菱刺・麻、木綿	A
II-1-8	刺子足袋（さしこたび）		羽前庄内（山形）	1940年頃	刺子・木綿	A
II-1-9	斜段手蜘蛛絞浴衣（ななめだんてぐもしはりゆかた）		尾張有松・鳴海（愛知）	明治時代 19世紀	絞染・木綿	A
II-1-11	駒散し文様羽織（こまちらしもんようはおり）			江戸時代 19世紀	型染・木綿	A
II-1-12	屋号入刺子袴纏（やごういりさしこはんてん）			江戸-明治時代 19世紀	木綿	B
II-1-16	蓑		岩代檜枝岐（福島）	1930年代	山葡萄皮、岩芝	A
II-1-18	木綿切伏衣（もめんきりふせい）		アイヌ（北海道）	19世紀	木綿	B
II-1-20	黄八丈着物（きはちじょうきもの）		八丈島（東京）	1920-30年代	絹	A
II-1-22	紬扇面散帯（つむぎせんめんちらしおび）	青田五良	京都	1930年頃	紬	C
II-1-23	紬帯	青田五良	京都	1930年頃	紬	C
II-1-24	紬帯	青田五良	京都	1930年頃	紬	C
II-1-25	赤漆彫汜文帯留（あかうるしちょうまんじもんおびどめ）	黒田辰秋	京都	1930年頃	木	C
II-1-26	色絵五弁花模様帯留（いろえごべんかもようおびどめ）	富本憲吉（細工：増田三男）	東京	1931年	磁器	C
II-1-27	染付更紗模様帯留（そめつけさらさもようおびどめ）	富本憲吉（細工：増田三男）	東京	1931年	磁器	C
II-1-28	銀象嵌赤漆花字帯留（ぎんぞうがなんあかうるしはなじおびどめ）	青田七良	京都	1930年頃	金工	C
II-1-29	こざんハンドバッグ		青森	20世紀	刺子・麻、木綿	C
II-1-30	紬ショール	青田五良	京都	1930年頃	紬	C
II-1-31	紬ショール	青田五良	京都	1930年頃	紬	C
II-1-32	流描指輪（ながしがきゆびわ）	河井寛次郎（細工：増田三男）	京都	1930-40年代	陶器	C
II-1-33	流描指輪（ながしがきゆびわ）	河井寛次郎（細工：増田三男）	京都	1930-40年代	陶器	C
II-1-34	紬日傘	柄：黒田辰秋 生地：青田五良	京都	1930年頃	紬、木	C
II-1-35	背負籠		東北地方	1940年	科皮ほか	A
II-1-36	網袋		ルカイ族（台湾）	20世紀	苧麻、籐	A
II-1-37	草鞋		朝鮮半島	1930年代	藁、蒲、麻	A
II-1-38	草鞋		朝鮮半島	1930年代	韓紙、麻	A
II-1-39	首飾り		パイワン族（台湾）	19世紀	ガラス玉	A
II-1-40	首飾り		ヴェネツィア（イタリア）			A
II-1-41	首飾り		トルコ			A

2 「食」を彩る

II-2-1	深鉢		南安曇郡小倉村出土（長野）	縄文時代中期	土器	A
--------	----	--	---------------	--------	----	---

No.	作品・資料名	作者名	制(製)作地(現在地名)	制(製)作年代	技法・材質	所蔵
Ⅱ-2-2	緑釉指描文鉢（りよくゆうゆびがきもんはち）		唐津・武雄（佐賀）	17世紀後半	陶器	A
Ⅱ-2-3	いっちゃん行平（いっちゃんゆきひら）		筑前野間（福岡）	1932年頃	陶器	A
Ⅱ-2-4	染付羊歯文湯呑（そめつけしだもんゆのみ）		肥前有田（佐賀）	江戸時代 世紀	18-19 磁器	A
Ⅱ-2-5	染付雨降文猪口（そめつけあめふりもんちょこ）		肥前有田（佐賀）	江戸時代 世紀	18-19 磁器	A
Ⅱ-2-6	染付蝙蝠文湯呑（そめつけこうもりもんゆのみ）		肥前有田（佐賀）	江戸時代 世紀	18-19 磁器	A
Ⅱ-2-7	黒釉貼付牡丹文甕（こくゆうはりつけばたんもんかめ）		薩摩・苗代川（鹿児島）	江戸時代	18世紀 陶器	A
Ⅱ-2-8	焼締黒流茶壺（やきしめくろながしちやつぽ）		信楽（滋賀）	江戸時代	19世紀 陶器	A
Ⅱ-2-9	呉須鉄絵撫子文石皿（ごすてつえなでしこもんいしざら）		瀬戸（愛知）	江戸時代	19世紀 陶器	A
Ⅱ-2-10	白掛黒流蠟燭徳利（しろがけくろながしろいうそくどっくり）		丹波（兵庫）	江戸時代	19世紀 陶器	A
Ⅱ-2-11	絵志野粟文平鉢（えしのあわもんひらばち）		美濃（岐阜）	桃山時代 世紀	16-17 陶器	A
Ⅱ-2-12	緑黒釉掛分皿（りよくこくゆうかけわけざら）		因幡牛ノ戸（鳥取）	1931年頃	陶器	A
Ⅱ-2-13	スリップウェア角皿		イギリス	18世紀後半-19世紀後半	陶器	A
Ⅱ-2-14	漆絵箔置桃文秀衡椀（うるしえはくおきももんひでひらわん）		東北地方	桃山-江戸時代 17世紀	漆塗・木	A
Ⅱ-2-15	塗分盆（ぬりわけぼん）			江戸時代	18世紀 漆塗・木	A
Ⅱ-2-16	霰釜（あられがま）		東北地方	江戸時代	18世紀 鉄	A
Ⅱ-2-17	湯釜			江戸時代	17世紀 鉄	A
Ⅱ-2-18	岩七輪		羽後阿仁合（秋田）	1934年頃	軟岩	A
Ⅱ-2-19	岩七輪		羽後阿仁合（秋田）	1934年頃	軟岩	A
Ⅱ-2-20	瓶敷		中国地方	1930年代	籐	A
Ⅱ-2-21	茶碗籠		備後府中（広島）	1930-40年代	竹	A
Ⅱ-2-22	網袋（鶏卵入れ）		朝鮮半島	20世紀初頭	藁	A
Ⅱ-2-23	蠟石製葉煎（ろうせきせいやくせん）		朝鮮半島	朝鮮時代	19世紀 蠟石	A

3「住」を飾る

Ⅱ-3-1	卍文照明（まんじもんしょうめい）	黒田辰秋	京都	昭和初期	木	C
Ⅱ-3-2	花文照明（はなもんしょうめい）	青田七良	京都	昭和初期	鉄	C
Ⅱ-3-3	筆筥（たんす）		東北地方	江戸-明治時代 19世紀	桐	B
Ⅱ-3-4	浮彫唐草文脇卓（うきばりからくさもんわきたく）		西アジアまたは南アジア	18世紀	木	A
Ⅱ-3-5	椅子		オーストリア	19世紀初頭	木	B
Ⅱ-3-6	ストーブ		中国	清時代	真鍮	A
Ⅱ-3-7	色絵猪文タイル（いろえいのししもんたいる）		オランダ	16-17世紀	陶器	A
Ⅱ-3-8	藍絵兎文タイル（あいいうさぎもんたいる）		オランダ	17世紀前半	陶器	A
Ⅱ-3-9	油差		朝鮮半島	朝鮮時代	19世紀 木	A
Ⅱ-3-10	竹貼硯床（たけばりけんしょう）		朝鮮半島	朝鮮時代 末	19世紀 竹	A
Ⅱ-3-11	円座（えんざ）		朝鮮半島	1930年代	莞草	A
Ⅱ-3-12	円座		朝鮮半島	1936年頃	莞草	A

No.	作品・資料名	作者名	制(製)作地(現在地名)	制(製)作年代	技法・材質	所蔵
Ⅱ-3-13	桐文行燈（きりもんあんどん）			江戸時代後期	鉄	C
Ⅱ-3-14	方形行燈（ほうけいあんどん）			江戸時代後期	鉄、木	C
Ⅱ-3-15	自在掛（大黒）（じざいかけ（だいこく））		北陸地方	江戸時代 19世紀	樺	A
Ⅱ-3-16	白鉄打掛火消壺（しろてつうちかけひけしつば）		丹波（兵庫）	江戸時代 19世紀	陶器	A
Ⅱ-3-17	灰ならし		羽前山形（山形）	1930年代	真鍮	A
Ⅱ-3-18	灰ならし		羽後（秋田）	1930年代	鉄	A
Ⅱ-3-19	燭台			江戸時代 19世紀	真鍮	A
Ⅱ-3-20	本立て	金田勝造	出雲安来（島根）	1932年頃	真鍮	A
Ⅱ-3-21	芯切鉢（しんきりばさみ）		京都	1920年代後半-30年代前半	真鍮	A
Ⅱ-3-22	鹿沼簪（かぬまぼうき）		下野鹿沼（栃木）	1939年頃		A
Ⅱ-3-23	手箒（てぼうき）		仙台郡山（宮城）	1939年頃		A
Ⅱ-3-24	手箒（てぼうき）		信州（長野）	1939年頃		A
Ⅱ-3-25	結び文座布団	芹沢銈介	静岡	1930年頃	型染・木綿	C

1941 生活展—柳宗悦によるライフスタイル提案 The 1941 Life Exhibition: A Lifestyle Proposal by Soetsu Yanagi						
I-1	テーブル	元谷壽治	鳥取	1934年頃	松	A
I-2	チャイルズ・スクロールバック・アームチェア		イギリス	19世紀	木	A
I-3	ラダーバックチェア		イギリス	1930年	木	A
I-4	藍鉄絵紅茶器（あいてつえこうちゃき）	濱田庄司	栃木	1935年頃	陶器	A
I-5	鉄絵番茶碗（てつえばんちゃわん）	濱田庄司	栃木	1941年	陶器	A
I-6	散蓮華（ちりれんげ）	船木道忠	島根	1935年頃	陶器	A
I-7	呉須角鉢（ごすかくばち）	河井寛次郎	京都	1931年頃	陶器	A
I-8	幾何文六角鉢（きかもんろっかくばち）		壺屋（沖縄）	1939-40年頃	陶器	A
I-9	塗分盆（ぬりわけぼん）		那覇市若狭町（沖縄）	1930年代	木	A
I-10	糠黒流掛葉味入（ぬかゆうくろながしがけやくみいれ）	濱田庄司	栃木	1920-30年代	陶器	A
I-11	燭台		朝鮮半島	1930年代	真鍮	A
I-12	ガレナ釉鉢（がれなゆうはち）	マイケル・カーデュー	イギリス	1920年代後半-30年代	陶器	A
I-13	ガレナ釉水注（がれなゆうすいちゅう）		イギリス	1920年代	陶器	A
I-14	火鉢		朝鮮半島	朝鮮時代	鉄	A
I-15	羽広鉄瓶（はびろてつびん）		羽前山形（山形）	1934年頃	砲金	A
I-16	ビューロー		イギリス	18世紀	オーク	A
I-17	ラダーバックチェア		イギリス	19世紀	木	A
I-18	燭台	熊代重延	下野益子（栃木）	1936年頃	鉄	A
I-19	透彫卍文状差（すかしぼりまんじもんじょうさし）		朝鮮半島	朝鮮時代 19世紀 末期	梧桐	A
I-20	色絵インク壺		スペイン	18世紀	陶器	A
I-21	白磁水滴（はくじすいてき）		朝鮮半島	朝鮮時代 19世紀 後半	磁器	A
I-22	海鼠釉双硯（なまこゆうそうけん）	河井寛次郎	京都	1936年頃	陶器	A
I-23	筒描茶道具屏風（つつがきちゃどうぐびょうぶ）			明治時代 19世紀	筒描・木綿	A
I-24	長卓		中国	19世紀	紫檀	A
I-26	緑釉水注（りょくゆうすいちゅう）		イギリス	14世紀	陶器	A
I-27	スリップウェア鶏文鉢（すりっぶうえあとりもんばんち）		イギリス	18世紀後半	陶器	A

No.	作品・資料名	作者名	制(製)作地(現在地名)	制(製)作年代	技法・材質	所蔵
I-28	スリップウェア手付杯 (ポセットポット)		イギリス	1793年	陶器	A
I-29	鉛釉蓋壺 (えんゆうふたつぼ)		肥前白石 (佐賀)	1932年頃	陶器	A
I-30	流描皿 (ながしがきさら)	河井寛次郎	京都	1927-28年頃	陶器	A
I-31	鉛釉地掛筒描椅円皿 (あめゆうじがけつつがきだえんざら)	濱田庄司	栃木	1931年	陶器	A
I-32	食器棚		イギリス	19世紀	木	A
I-33	長崎港図			江戸時代 18世紀後半-19世紀初期	紙本着色	A

topic 気候風土が育んだ暮らし—沖縄

II-t-1	松桜文紅型着物 (まつさくらもんびんがたきもの)		首里 (沖縄)	19-20世紀前半	型染・木綿	B
II-t-3	雪輪に桜楓文紅型着物 (ゆきわにさくらかえでもんびんがたきもの)		首里 (沖縄)	19-20世紀前半	型染・木綿	B
II-t-5	芭蕉布緋着物 (ばしょうふかすりきもの)		首里 (沖縄)	19-20世紀前半	芭蕉	B
II-t-7	緋着物 (かすりきもの)		首里 (沖縄)	19-20世紀前半	木綿	B
II-t-9	笠		沖縄	1930-50年代	麦藁	A
II-t-10	クバ団扇		沖縄	1950-60年代	クバ	A
II-t-11	白掛燭台 (しろがけしよくだい)		壺屋 (沖縄)	琉球王国時代 19世紀	陶器	A
II-t-12	鉛釉白打仏花器 (あめゆうしろうちぶっかき)		壺屋 (沖縄)	琉球王国時代 19世紀	陶器	A
II-t-13	朱漆透彫仏壇 (しゅうるしすかしはりぶつだん)		首里 (沖縄)	琉球王国時代 19世紀	朱漆、木	A
II-t-14	焼締按瓶 (やさしめあんびん)		壺屋 (沖縄)	琉球王国時代 19世紀	陶器	A
II-t-15	螺鈿茶盆 (らでんちゃぼん)		那覇市若狭町 (沖縄)	1940年頃	朱漆、木	A
II-t-16	白掛呉須唐草文蓋付碗 (しろがけごすからくさもんふたつきわん)	金城次郎	壺屋 (沖縄)	1939年頃	陶器	A
II-t-17	白掛呉須鉛差花文蓋付碗 (しろがけごすあめさしはなもんふたつきわん)	金城次郎	壺屋 (沖縄)	1940年	陶器	A

topic 福島の民藝—会津本郷焼

黒釉鉢	会津 (福島)		陶器	D
黒釉湯たんぽ	会津 (福島)	20世紀	陶器	D
黒釉壺	会津 (福島)	20世紀	陶器	D

ひろがる民藝—これまでとこれから Expanding Mingei: Past, Present and Future

1 『世界の民芸』—新たな民藝の世界

III-1-1	『世界の民芸』	濱田庄司、芹沢銈介、外村吉之介著 朝日新聞社	1972年			C
III-1-2	靴下		アゼルバイジャン 地方 (イラン)	20世紀後半	手編み・羊毛	B
III-1-3	入れ子土鍋		グアダラハラ市近 郊 (メキシコ)	20世紀後半	土器	B
III-1-4	捺染貫頭衣 (なっせんかんとうい)		スーダン	20世紀	捺染・木綿	B
III-1-5	人形		フニン県ワンカヨ (ペルー)	20世紀後半	木	B

No.	作品・資料名	作者名	制(製)作地(現在地名)	制(製)作年代	技法・材質	所蔵
Ⅲ-1-6	人形		フニン県ワンカヨ (ペルー)	20世紀後半	木	B
Ⅲ-1-7	飾りピン		ペルー	20世紀	銅	B
Ⅲ-1-8	石製ランプ		アフガニスタンま たはイラン	20世紀	石	B
Ⅲ-1-9	双魚文上着裂(モラ)(そうぎょもんうわ ぎきれ(もら))		サンブラス島(パ ナマ)	20世紀後半	パッチワーク・ 木綿	B
Ⅲ-1-10	踊り衣装		アテネ(ギリシャ)	20世紀後半	刺繍・羊毛	B

2 民藝の産地—作り手といま

Ⅲ-2-1	鉄釉黒黄流文字入せんべい壺(てつゆうく ろきながしもじいりせんべいつぼ)		小鹿田(大分)	江戸時代	19世紀	陶器	A
Ⅲ-2-2	『日田の皿山』(『ひたのさらやま』)	柳宗悦著 日本民藝協会		1943年			C
Ⅲ-2-3	緑釉櫛描水注(りよくゆうくしがきすい ちゅう)	バーナード・リー チ	小鹿田(大分)	1954年		陶器	A
Ⅲ-2-4	白掛胎青流甕(しろかけあめあおながしか め)		小鹿田(大分)	1930年代		陶器	A
Ⅲ-2-5	『丹波布』(民藝叢書第4編) (『たんばふ』(みんげいそうしょだい4へ ん))	上村六郎著 工政会出版部		1931年			C
Ⅲ-2-6	大津絵 鬼の念仏			江戸時代 17世紀後半-18世 紀前半		紙本着色 表具:丹波布 (柳宗悦装案)	A
Ⅲ-2-8	大津絵 塔			江戸時代	18世紀	紙本着色 表具:丹波布 (柳宗悦装案)	A
Ⅲ-2-10	丹波布		丹波(兵庫)	1950-60年代		紬・木綿	A
Ⅲ-2-11	丹波布		丹波(兵庫)	1950-60年代		紬・木綿	A
Ⅲ-2-12	『工藝』第108号(1942年1月号、特集: 東北の民藝)						C
Ⅲ-2-13	米揚簀(こめあげざる)		陸中鳥越(岩手)	1934年頃		竹	A
Ⅲ-2-14	竹行李(たけこうり)		陸中鳥越(岩手)	1930年代		竹	A
Ⅲ-2-15	おぼけ(苧桶)(おぼけ(おおけ))		陸中鳥越(岩手)	明治-昭和時代 19-20世紀前半		竹	A
Ⅲ-2-16	『工藝』第109号(1942年6月号)						C
Ⅲ-2-17	『本高熊抄紙傳聞』(『ほんたかくまかみす きつたえきき』)	岡村吉右衛門		1955年		型染・紙	C
Ⅲ-2-18	型染カレンダー 1958年海外版	芹沢銈介	東京	1957年		型染・紙	B
Ⅲ-2-19	型染カレンダー 1973年	芹沢銈介	東京	1972年		型染・紙	B
Ⅲ-2-20	角酒瓶(かくしゅへい)	小谷眞三	倉敷(岡山)	1979年		ガラス	A
Ⅲ-2-21	酒瓶(しゅへい)	小谷眞三	倉敷(岡山)	1985年頃		ガラス	A
Ⅲ-2-22	栓付瓶		メキシコ	20世紀中頃		ガラス	A
Ⅲ-2-23	鉢(パンチボウル)		メキシコ	1960年頃		ガラス	A
	小鹿田焼(坂本工窯、坂本浩二窯)						
	丹波布						
	鳥越竹細工(柴田恵)						
	八尾和紙(桂樹舎)						
	倉敷ガラス(小谷栄次)						

topic Mixed MINGEI Style by MOGI

Mixed MINGEI Style by MOGI インスタレーション [テリー・エリス/北村恵子(MOGI Folk Art)]

いわき市小・中学生版画展プラスー版画の力

本年度で40回目を迎えた本展は、いわき市内の児童生徒が過去1年間に制作した版画作品を美術館に展示公開することにより、日頃の学習の成果を広く市民に紹介するとともに、児童生徒が造形学習や表現行為への興味と喜びを体験し、もって創作意欲の向上を促すことを目的として開館以来開催を続けている展覧会である。

今回は、40年目を一つの区切りととらえ、新たな取り組みを加えて「いわき市小・中学生版画展プラスー版画の力」と題して開催した。その一つは、新しい版画技法の紹介と本展出品への動機づけに繋がることを期待して実施した専門講師による教師のための版画技法研究会と小学校における版画制作の授業の実践である。もう一つは、版画展の出品者

と一般の美術愛好家がともに版画の魅力、版画の力を堪能できる機会の創出を目指して開催した当館の所蔵作品による小企画「マティス×ピカソ」、歴代のポスター等で版画展の40年を振り返る資料展示「40年のキセキ」の同時開催である。これらの取り組みが、ここ数年来の課題となっている出品者数の減少や観覧者数の減少への対応策の一つとなり得るか否かの検証を試み、次年度以降の展開に繋げたい。

コロナ5類移行を受け、担当教師と美術館が本年度の開催について打ち合わせを行う「準備会」を再開、また、会期中の催しの参加制限を解除して通常開催とし多くの参加者を得た。

会 期 2024年1月5日(金)～1月28日(日)
会 場 いわき市立美術館
主 催 いわき市立美術館、いわき市教育委員会
協 力 いわき市小学校教育研究会図画工作部会
いわき市中学校教育研究会美術部会



■参加校、および出品者数

参加校	27校	小学校	15	
		中学校	8	
		特別支援	4	
参加者数	1,782人	小学校	1,196	
		中学校	461	
		特別支援	125	
出品点数	1,393点	小学校	829	内、共同作品 16 点
		中学校	461	
		特別支援	103	内、共同作品 13 点

■参加校一覧

【小学校】

平第一小学校
平第二小学校
平第五小学校
郷ヶ丘小学校
中央台北小学校
中央台南小学校
久之浜第二小学校
御厩小学校

好間第二小学校
小名浜東小学校
小名浜西小学校
泉小学校
湯本第三小学校
磐崎小学校
いわき秀英小学校

【中学校】

平第一中学校
中央台南中学校
草野中学校
久之浜中学校
小名浜第二中学校
泉中学校
湯本第一中学校
磐崎中学校

【特別支援教育諸学校】

聴覚支援学校平校
平支援学校
いわき支援学校
富岡支援学校

●小企画「マティス×ピカソ」 出品リスト

作家名	生没年	作品名	制作年	技法・材質	サイズ	所蔵
アンリ・マティス	1869-1954	版画集「ジャズ」	1947	ステンシル・紙、20点組		いわき市立美術館
パブロ・ピカソ	1881-1973	棺	1959	リノカット・紙	53.0×63.7	いわき市立美術館
		三人の女	1959	リノカット・紙	53.0×64.2	いわき市立美術館
		母と踊り子と音楽家	1959	リノカット・紙	64.0×53.0	いわき市立美術館
		闘牛	1959	リノカット・紙	53.7×66.5	いわき市立美術館
		葉の冠をつけたひげの男	1962	リノカット・紙	34.8×26.8	いわき市立美術館
		豊かな髪の子	1962	リノカット・紙	35.0×27.0	いわき市立美術館
		草上の昼食	1962	リノカット・紙	53.0×64.0	いわき市立美術館
		女の顔	1962	リノカット・紙	64.0×52.5	いわき市立美術館
		飾り帽子の女の顔	1962	リノカット・紙	64.0×53.0	いわき市立美術館
		女	1962	リノカット・紙	64.0×52.7	いわき市立美術館
		花飾りの帽子	1963	リノカット・紙	53.0×40.0	いわき市立美術館

●特別展示

作者	作品名	制作年	技法・材質	サイズ	所蔵
久之浜中学校生徒共同作品	竹取物語、蜘蛛の糸、鶴の恩返し	1980	木版・紙	各184.0×92.0	いわき市立美術館
御厩小学校 昭和31年度6年生	私達の炭鉱（昭和31年度全国版画コンクール小学校の部1位（文部大臣賞受賞））	1956	木版・紙	85.0×180.0	いわき市立御厩小学校
御厩小学校 昭和34年度5年生	私たちの炭鉱（昭和34年度全国版画コンクール小学校の部1位（文部大臣賞受賞））	1959	木版・紙	85.0×180.0	いわき市立御厩小学校

ニューアートシーン・イン・いわき 森口美樹展—明日の約束—

いわきとゆかりのある現代作家を紹介する企画展「ニューアートシーン・イン・いわき」の49回目。森口美樹は1990年福島県双葉郡に生まれ、2013年に女子美術大学芸術学部絵画学科洋画専攻を卒業後、複数のグループ展に出品。2019年と2022年にはいわき芸術文化交流館アリオスで個展を開催するほか、同館の定期刊行物『アリオスパーパー』の2022年度の表紙制作を担当するなどいわきを拠点に制作を続けている。

東日本大震災を経験した森口は、被災地を取り巻く状況や言説、あるいは日常会話のなかで本来違いのないはずの人間同士が被災者／非被災者の二元論で語られることに疑問を抱き、そうした人と人との線引きをどうすれば解消できるかを模索する。そして、誰もが

過ぎ去っていく「今」と「明日の約束」を交わしているということに気づき、それをテーマとした絵画、そして言葉による作品を手掛けた。本展では森口の旧作に加え、そうした「明日の約束」をテーマとした作品群を森口自身の言葉とともに展示した。

関連事業として作家本人によるアーティストトークを開催。参加者とコミュニケーションを取りながら作品についての作家の思いを伝えた。

会 期 2023年4月25日(火)～6月4日(日)

会 場 いわき市立美術館 1階ロビー

主 催 いわき市立美術館



●森口美樹展—明日の約束— 出品リスト

No	作品名	制作年	技法	サイズ(cm)	備考
1	双子の男の子(蝶々、森)	2023	アクリル彩・パネルに紙	33.3×33.3	
2	双子の男の子(金蚊、夜)	2023	アクリル彩・パネルに紙	33.3×33.3	
3	喜びの歌を歌う(誰かの行ってきます、誰かのただいま)	2021	鉛筆・パネルに紙	72.5×72.5	
4	brothers	2021	アクリル彩・パネルに紙	80.5×80.5	
5	sisters	2021	アクリル彩・パネルに紙	80.5×80.5	
6	かけらの犬	2021	アクリル彩・パネルに紙	各22.7×22.7	3点組
7	ふるさとの土を食べた、ふるさとは私になった、私にはふるさとの匂いがわかる	2023	鉛筆・パネルに紙	60.5×60.5	
8	旅する者達	2021	鉛筆・パネルに紙	各41.0×41.0	3点組
9	約束の触感、温度、その間に境目はあるか想像する	2023	アクリル彩・パネルに紙	1)33.5×33.5 2)33.5×53.0 3)27.5×22.0 4)12.0×18.0 5)12.0×18.0 6)18.0×12.0 7)18.0×12.0 8)21.0×29.7	8点組
10	献花(3つのさようなら)	2021	鉛筆・パネルに紙	各18.0×18.0	6点組

第53回いわき市民美術展覧会

会 期 書の部
令和6年2月 9日(金)～2月18日(日)
絵画・彫塑の部
令和6年2月23日(金)～3月 3日(日)
陶芸の部
令和6年3月 8日(金)～3月17日(日)
写真の部
令和6年3月 8日(金)～3月17日(日)

会 場 いわき市立美術館企画展示室1、2および
ロビー

主 催 いわき市民美術展覧会運営委員会
いわき市教育委員会 いわき市文化協会
いわき市立美術館

後 援 (財)福島県報徳社 福島民報社
福島民友新聞社 いわき民報社
NHK福島放送局 ラジオ福島
福島テレビ 福島中央テレビ 福島放送
テレビユー福島 F M いわき

協 力 いわき美術協会 いわき陶芸協会
いわき書道協会 いわきアート集団
いわき写真協会

審査員 書の部
鈴木花泉、木田湛周、物江虹唐
(書家／市内在住)

絵画・彫塑の部
佐々木吉晴(宇都宮美術館館長、やないづ
町立斎藤清美術館館長／市内
在住)

陶芸の部
大高正希(陶芸家、東陶会理事・事務局／
栃木県在住)

写真の部
喜多規子(写真家／東京都在住)

●書の部
一般応募100点(内、青少年33点)
展示点数122点(招待22点、一般100点)

●絵画・彫塑の部
一般応募190点(内、青少年33点)
展示点数197点(招待6点、遺作1点、一般190点)

●陶芸の部
一般応募73点(内、青少年0点)
展示点数85点(招待11点、遺作1点、一般73点)

●写真の部
一般応募127点(内、青少年0点)
展示点数130点(招待3点、一般127点)

今年度の市美展は5月に新型コロナウイルスが5類に指定されたことをうけ、コロナ禍以前同様に市美展を開催することができた。書の部「高校生による書道パフォーマンス&招待作家による席上揮毫」、各部による作品解説や批評会、陶芸の部の「タッチコーナー」などが開催され、好評であった。

通常通りの開催となったこともあり、4部門全体の一般出品者数は490点となり、昨年より27点増加した。特に、書の部で青少年が33点出品され、昨年の青少年2点から31点増と大幅な伸びとなり、明るい話題となった。しかし、まだコロナ禍以前の出品者数(48回展：581人)までは回復せず出品料収入も回復していないことから、各部門の審査員を囲む会開催は見送られた。現状は、出品者の高齢化、新規出品者数が伸び悩みといった傾向が見られ、今後市美展を運営していく上で、新たな世代の創作意欲をどう喚起し、市美展への出品を促すかが今後の課題となる。

来場者数については、絵画・彫塑の部、陶芸の部、写真の部の3部門では減少したが、書の部は昨年より220人増加した。書の部の来場者数増加の要因としては、青少年の出品作品を観覧する家族の来場者が多かったことと、「高校生による書道パフォーマンス&招待作家による席上揮毫」の参観者が多かったことが挙げられる。



書の部 入賞者

賞 名	作品名	作家名	住 所
いわき市長賞	いわきのうた～フラガールと遠野和紙～	江川文子	常磐上湯長谷町
いわき市議会議長賞	暁達	齊藤福庵	郷ヶ丘
いわき市教育委員会教育長賞 《佳作》	杜甫詩	吉村翠苑	平
福島県報徳社賞	旅遊傷春	古和口瑛香	中岡町
遠藤一心堂賞	古今集	西恵美子	四倉町
キョー和賞	杜甫詩	山川榮雪	平
株式会社風雅プランニング賞 //	臨風信帖 梅の花	賀澤志音 渡辺梨花	小名浜 石塚町
ガスワン賞（常磐共同ガス株式会社）	臨曹全碑	渡部愛加	平北白土
ひまわり信用金庫賞	嚴勅詩	笹田北陸	勿来町
いわしん賞（いわき信用組）	臨李嶠詩	鈴木芳春	小川町高萩
ときわ会賞	杜甫詩	柳田華堂	勿来町
有限会社朝日建工賞 《特別賞》	白居易詩	伊藤秋櫻	常磐湯本町
青少年賞（遠藤一心堂賞）	臨隅寺心經	笹澤花音	草木台
青少年賞（富士川新社賞）	臨蓬萊切	小林さくら	若葉台
青少年賞（有限会社朝日建工賞）	偶成	藤原流音	郷ヶ丘

※審査員はいわき市民美術展覧会運営委員会での推薦をもとに決定され、三賞および佳作等は審査員が選考します。
※青少年賞は、若手育成を目的とした賞で、20歳未満の出品者を対象とします。

絵画・彫塑の部 入賞者

賞 名	作品名	作家名	住 所	部門
いわき市長賞	地に生きる	平子貞男	小川町高萩	絵画
いわき市議会議長賞	ホワイトホール	鷺邦明	錦町	絵画
いわき市教育委員会教育長賞 《佳作》	記憶の反芻 / 蒐集	高木武廣	小名浜	絵画
いわき商工会議所会頭賞	猛暑	吉田弘伸	平	絵画
いわき市文化協会会長賞	景 - R 6. 1. 1.	佐々木寿子	錦町	絵画
福島県報徳社賞 // // //	障子 De Stijl 悲しい風景 Guidance 滅びゆく楽園	松本崇 四家廣一 遠藤弘子 山口典子	小名浜 平下大越 小浜町 内郷綴町	彫塑 絵画 絵画 絵画
有限会社トーカイ賞	耕作放棄地	斉藤信子	山田町	絵画
株式会社箱崎美術広告社賞	舌を出した神（幻聴に耳を傾ける）	木村律子	平中神谷	絵画
椿屋賞	変身	山本伸樹	田人町旅人	彫塑
昭文堂賞 //	無強福 玄黄記 24-2	鈴木忠壽 吉田成寿	鹿島町走熊 小名浜下神白	絵画 絵画
坂本紙店賞	僕の恋人は黒いネコ	会田光子	中央台	絵画
ギャラリー磐城賞	枯木に葉を纏う	藤於環	常磐上湯長谷町	絵画
アーツスペース泉賞	スタートライン	中塚將太	常磐上湯長谷町	絵画
ガスワン賞（常磐共同ガス株式会社）	金鶴流舞之図	吉田清	明治団地	絵画
ひまわり信用金庫賞 《特別賞》	恋せよネッコ	市村徹	平下大越	彫塑
青少年（アーツスペース エリコーナ）賞	JAZZ	田仲凜太郎	中央台	絵画
青少年（A氏）賞	日照雨市の湯煙街風景画	佐藤彩希	常磐西郷町	絵画
青少年奨励（X）賞	JAZZ	田仲凜太郎	中央台	絵画

※審査員はいわき市民美術展覧会運営委員会での推薦をもとに決定され、三賞および佳作等は審査員が選考します。
※青少年賞は、20歳未満の出品者が対象となります。
※青少年奨励（X）賞は、美術を志す青少年育成のため、25歳以下の上位受賞者を対象にダブル授与されます。

陶芸の部 入賞者

賞 名	作品名	作家名	住 所
いわき市長賞	磐城象嵌茶碗「双葉」	山崎淳司	田人町南大平
いわき市議会議長賞	窯変渦紋扁壺	吉田多喜子	岡山県瀬戸内市牛窓町
いわき市教育委員会教育長賞 《佳作》	白練水均布目花瓶	武藤忠晴	石森
いわき市文化協会会長賞	古信楽焼締壺「曙」	新井清之	中央台
福島県報徳社賞	花待つ器	熊谷康男	好間町中好間
いわき陶芸協会賞	練込花模様組茶碗	若松太久	小名浜岡小名
ギャラリー磐城賞	彩色花器	荻野イチ子	泉町
アールスペース泉賞	癒しの彩り	緑川法子	勿来町
ガスワン賞（常磐共同ガス株式会社）	透器	青木有紀	郷ケ丘
ひまわり信用金庫賞	しあわせは無限大に	橋本栄子	内郷御厩町
ギャラリー木もれび賞	飛翔Ⅱ	根本寿恵子	内郷高坂町
株式会社インデュアホームいわき南賞	神話－2（トンパ文字）	佐藤界	明治団地

※審査員はいわき市民美術展覧会運営委員会での推薦をもとに決定され、三賞及び佳作等は審査員が選考します。

写真の部 入賞者

賞 名	作品名	作家名	住 所
いわき市長賞	怒涛に挑む（いわき市豊間海岸）	増井俊一	平
いわき市議会議長賞	路地の風景	湯田由美	平
いわき市教育委員会教育長賞 《佳作》	冬海朝陽	水野誠	平
いわき市文化協会会長賞	戦国絵巻	船生一夫	平
福島県報徳社賞	導き	大澤勝男	金山町
有限会社トーカイ賞	彩光	遠藤千津子	中央台
社団法人いわき観光まちづくりビューロー賞 //	溪谷の貴婦人 朝日を浴びて	今泉弘 山崎憲一	小川町上平 平上片寄
福島県写真館協会いわき支部賞	輝光	稲田幹夫	勿来町
昭文堂賞	祭り、水のかけ合い	根本隆意	内郷御台境町
東日本国際大学賞	退くとも	Nuu.	内郷綴町
YK写真工房賞	水にたゆたう	小澤令子	小名浜下神白
カメラの矢吹賞	昇陽	鈴木達也	平
いわき写真協会賞	99歳のメイクアップ	舩井里美	平谷川瀬
イタリアンレストランテラツツア賞	流れの光跡	比佐勇	常磐上湯長谷町
ガスワン賞（常磐共同ガス株式会社）	星の夜に螢乱舞	山本敏和	自由ヶ丘
ひまわり信用金庫賞	恐竜の夢	新妻裕人	四倉町
ハニーズ賞（株式会社ハニーズホールディングス） //	風と遊ぶ 雪流れの朝	西山栄 増井則子	泉玉露 泉町黒須野

※審査員はいわき市民美術展覧会運営委員会での推薦をもとに決定され、三賞及び佳作等は審査員が選考します。

普及事業
移動美術館

市内の公民館や学校などとの相互交流や連携により美術館活動の幅を広げ、美術や美術館への興味を広げる。市内の作家や各種専門家、また学芸員が講師となり、実技・工作、美術講座、作品鑑賞教室など多角的に展開。

開催日	講師	講座名(内容・共催先)	会場
12月13日(水)	当館学芸員	総合教育センター チャレンジホーム 「ステイニング技法でトートバッグをつくろう」 下地塗りをしていない綿布に薄く溶いた絵具をにじみ込ませるステイニング技法を使ってトートバッグに描く活動。チャレンジホーム参加者児童・生徒8名、指導員6名、ALT1名。共催先：いわき市総合教育センター	総合教育センター

普及事業
講演会

企画展などの鑑賞の一助として、専門の講師を招聘した講座。出品作家、研究者など、多岐にわたる講師陣を迎えて開催した。

開催日	講師	講座名(内容)	会場
4月15日(土)	清水靖子 (サクラアートミュージアム主任学芸員)	クレパス画の魅力 「クレパス画名作展」の出品作品所蔵館であるサクラアートミュージアムの学芸員・清水靖子氏を迎え、クレパスの歴史や特徴、出品作家、作品の紹介をいただいた。ユーモアを交えた語り口で、作家、作品の知られざるエピソードを聴き、参加者には勉強になるとともに、楽しめる講演会となった。	セミナー室
5月5日 (金・祝)	森口美樹 (作家)	「ニューアートシーン・イン・いわき 森口美樹展—明日の約束—」 アーティストトーク 展示された作品を前に作家本人が展覧会のコンセプトや作品の制作背景を語った。参加者も作家に質問や感想を投げかけ、コミュニケーションを取りながら作品についての思いを伝える場となった。	1階ロビー
7月2日(日)	近藤二郎 (早稲田大学名誉教授)	古代エジプトの信仰と死生観 「古代エジプト美術館展」の関連事業として、本展学術協力者の近藤二郎氏による講演会を開催。エジプトの地理や古代エジプトの時代区分、世界観に続き、古代エジプトの神々と信仰(太陽信仰、オシリス信仰など)、死生観やミイラ、副葬品について詳しく解説してもらった。	セミナー室
11月5日(日)	森谷美保 (「民藝 MINGEI」監修/美術史家)	講演会 暮らしのなかの民藝 「民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある」の関連事業として、本展監修者であり、これまで民藝関係の展覧会に携わってきた森谷美保氏の講演会を開催。民藝運動について、「民藝」の提唱者である柳宗悦の半生や本展の展示物、民藝運動に参加した同人たちの生活といった視点から解説してもらった。	セミナー室



「ニューアートシーン・イン・いわき 森口美樹展—明日の約束—」アーティストトーク



講演会「クレパス画の魅力」



講演会「古代エジプトの信仰と死生観」

普及事業 美術講座

展覧会鑑賞の一助として、また、様々な美術の情報の提供を目的として当館学芸員が講師となり開催。

開催日	講師	講座名(内容)	会場
5月20日(土)	当館学芸員	スライドトーク「展覧会の見どころ」(クレバス画名作展) 「クレバス画名作展」担当学芸員による展覧会の見どころ解説。クレバスの歴史やパステル、クレヨンとの関係を重点的に紹介した。	セミナー室
7月29日(土)	当館学芸員	スライドトーク「展覧会の見どころ」(古代エジプト美術館展) 「古代エジプト美術館展」の概要と見どころを画像を用いながら説明。	セミナー室
8月1日(火)	当館学芸員	ティーチャーズミュージアム 市内の幼稚園・保育所から高校までの教職員の希望者を対象に、常設展、9月以降の企画展の紹介、簡単な制作体験、意見交換を行う。	セミナー室

普及事業 ギャラリートーク

作品鑑賞の一助として、常設展では毎週土曜日に定期開催。企画展では、土曜日、日曜日を中心に開催。また、団体などの要望に応じて随時開催した。

開催日	講師	講座名(内容)	会場
毎週土曜日 (35回開催)	当館学芸員	常設展ギャラリートーク	常設展示室
6月24日(土)	菊川匡(古代エジプト美術館 渋谷 ファウンダー)	ギャラリートーク「古代エジプト美術館展」 「古代エジプト美術館展」出品作を所蔵する同館ファウンダーの菊川匡氏が「古代エジプト美術館展」の展示品から、各章ごとに数点ずつ選んで解説を行った。	企画展示室
9月30日(土)	当館学芸員	ギャラリートーク「体験！いわ美Ⅱ 見て・考えて・表現して—体験する現代アート」 展示室にて、11のアートプログラムの説明とそのコーナーに展示している作品を解説。	企画展示室
1月20日(土)	当館学芸員	版画展 学芸員によるギャラリートーク 版画展出品作品の中から参加者の気になった作品の感想をみんなで自由に話しながらか鑑賞した後、40年を機に開催した小企画「マティス×ピカソ」と資料展示「版画展40年のキセキ」の解説を行った。	企画展示室
通年、随時 (18回開催)	当館学芸員	団体解説 常設展、企画展の団体鑑賞につき、要望に応じて随時開催	常設展示室、 企画展示室



講演会「暮らしのなかの民藝」



ギャラリートーク「古代エジプト美術館展」

普及事業 ワークショップ

現代美術作家などを中心に、参加者が表現における思考のプロセスや作品の創作を共同作業でおこない、表現することの楽しさを体験しつつ美術に対する理解を深めていくプログラム。企画展に併せて、また収蔵作家ワークショップなど独自の企画により多角的に開催した。

開催日	講師	講座名(内容)	会場
7月15日(土)	高見妙、田澤恵子 (古代オリエント博物館教育普及員、研究員)	ワークショップ「古代エジプトのひみつ」 ①「ヒエログリフのひみつ」 「古代エジプト美術館展」関連事業。まず古代エジプトの文字の成り立ちや、ヒエログリフの3つのはたらきについて学んだのち、ヒエログリフビンゴのミニゲームを行った。最後に、各自がワークシートにヒエログリフを練習し、パピルスに自分の名前を書いた。	セミナー室
7月16日(日)	高見妙、田澤恵子 (古代オリエント博物館教育普及員、研究員)	ワークショップ「古代エジプトのひみつ」 ②「ミイラ作りのひみつ」 「古代エジプト美術館展」関連事業。古代エジプト人はなぜ、どこで、どうやってミイラを作ったのかを学んだのち、古代オリエント博物館のオリジナル教材を使って、ミイラ作りの儀式を追体験した。	セミナー室
8月5日(土)、 8月6日(日)	当館学芸員	美術館的自由研究ノススメ2023 美術館のバックヤード、企画展・常設展を見学し、館内で自分なりの課題やテーマを見つけ、各自制作や研究をすすめる。最終日に研究内容や制作物を全員が他の参加者や保護者の前で発表した。	実技講習室、 展示室、図書 室など
9月16日(土)、 9月17日(日)	高橋和真 (パッケージクラフト作家)	「パッケージクラフトに挑戦」 「体験！いわ美Ⅱ」の関連事業として開催。説明書を参考にし、参加者は講師の指導のもとお菓子のパッケージを使って、クワガタ、カンガルー、犬、ティラノサウルスを作った。	実技講習室
11月2日(木)、 11月6日(月)	佐竹邦子 (多摩美術大学教授)	学校でリトグラフ 小・中学生版画展の関連事業。学校の教員だけでは扱いづらい「木版リトグラフ」技法を使って「頑張ったわたし」をテーマに作品を制作した。前半に製版(3時間)、後半に刷り(3時間)の2日間の行程で開催。各生徒は、試し刷り1枚、モノクロ本摺り1枚、そして3枚目の色刷りはクラス全員の共同制作として仕上げ、小・中学生版画展の出品作品とした。	いわき市立 磐崎小学校
11月25日(土)	橋本彰一 (デコ屋敷大黒屋代表取締役)	ワークショップ「三春人形と触れ合おう！」 「民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある」の関連事業として開催。福島県の民藝「三春人形」の作家・橋本彰一氏から三春人形について解説を聞き、講師指導のもと翌年の干支である辰の人形に絵付けを行った。講師と参加者とのコミュニケーションも積極的で、参加者の満足度も高い様子だった。	実技講習室
1月5日(金)～ 28日(日)	当館スタッフ	小・中学生版画展 かんたん！版画 体験コーナー カーボン紙紙版画の制作体験コーナーを開設。随時自由参加。参加者は、持ち帰り作品1点と会場内の「版画の広場」に掲示用の1点を制作。	2階ロビー
1月13日(土)、 1月14日(日)	大村雪乃 (現代美術家)	わくわくアートスクール「えっ、丸シールでお絵描き!?!」 「小・中学生版画展プラス—版画の力」の関連事業として開催。事務用品の丸シールを使った描画に挑戦した。年齢等にかかわらず誰でも参加しやすくなるため「かんたんコース」、「たのしいコース」、「うつくしコース」の3コースを設定。	実技講習室



ワークショップ「古代エジプトのひみつ」
①「ヒエログリフのひみつ」



ワークショップ「古代エジプトのひみつ」
②「ミイラ作りのひみつ」



ワークショップ「パッケージクラフトに挑戦」

普及事業
実技講座

さまざまな分野の作家を招き、普段なかなか体験する機会がない技法や表現方法を学びながら自身の表現へと繋げ、制作の可能性を広げることを目的に実施。

開催日	講師	講座名(内容)	会場
5月3日 (水・祝)	清水靖子 (サクラアートミュージアム主任学芸員)	子どものためのクレパス画講座 「クレパス画名作展」関連事業。小学校3年生～中学生を対象としたクレパス画講座。クレパス50色セットを用いて、全ての色を使いながら色名を学ぶことのできる内容。	セミナー室
5月3日 (水・祝)	清水靖子 (サクラアートミュージアム主任学芸員)	大人のためのクレパス画講座 「クレパス画名作展」関連事業。高校生以上を対象としたクレパス画の入門講座。まずクレパス一本を使い切り、画用紙1枚に均質に塗りこめるという課題が与えられ、参加者はクレパスの特質、難しさや基礎の大切さを学んだ。その後、重色、スクラッチ技法と、アルミ板を用いた疑似的な版画技法を学んだ。	セミナー室
7月27日(木)	佐竹邦子 (多摩美術大学教授)	先生のための版画技法研究会(木リト) 「いわき市小・中学生版画展プラス—版画の力」の関連事業。いわき市中教研美術専門部会の研究会にあわせて開催。木版リトグラフの実技と授業への応用・実践についての研修を行った。	いわき市立 草野中学校

普及事業
公開制作

作家の制作過程を広く公開することにより、素材や技法、作家独自の作品論などを身近に見聞できる機会を提供する目的で開催。

開催日	講師	講座名(内容)	会場
11月18日(土)、 11月19日(日)	柴田恵 (鳥越竹細工作家・ 「竹のめぐみ」主宰)	岩手の民藝「鳥越竹細工」を知る 「民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある」の関連事業。岩手県鳥越地区の民藝「鳥越竹細工」の作り手である柴田恵氏が実際に制作をしながら鳥越竹細工について話し、参加者の質問にも回答した。職人の技術に目を注ぎながら、鳥越竹細工の魅力や作り手の日常、また材料の枯渇や後継者不足といった現状を知る機会となった。	セミナー室



ワークショップ「パッケージクラフトに挑戦」



ワークショップ「三春人形と触れ合おう！」



実技講座「子どものためのクレパス画講座」

普及事業 映像鑑賞会

企画展の内容に関連した映画や、美術を題材にしたドキュメンタリー、良質なアニメーション作品等を取り上げ、紹介している。

開催日	講師	講座名(内容)	会場
4月30日(日)		映画鑑賞会『メットガラ ドレスをまとった美術館』 2016年制作、監督アンドリュー・ロッシ。2015年春、メトロポリタン美術館にセレブリティが集う一大イベント「メットガラ」と、服飾部門の展覧会が開幕するまでを追った豪華絢爛なドキュメンタリー。	セミナー室
3月20日 (水・祝)		春分の日映画会『ソング・オブ・ザ・シー 海のうた』 2014年制作、監督トム・ムア。アイルランドに伝わるセルキー伝説を題材に、海ではアザラシ、陸では人間の女性の姿をとる妖精と人間との間に生まれた兄妹の冒険を描いたアニメーション映画。	企画展示室 2

普及事業 コンサート& パフォーマンス

時代とともに多様化する芸術表現を企画展、常設展と関連づけながら多角的に紹介する事業。美術館という環境ならではの特性を生かしながら、美術と異ジャンルとの積極的なかわり合いが生み出す相乗効果を体感できる機会提供を心がけている。

開催日	講師	講座名(内容等)	会場
8月11日 (金・祝)、 8月12日(土)	Maya Gamila & Maya Troupe (オリエンタル・エジ プシヤンダンサー)	ダンス公演「古代エジプトとベリーダンス」 「古代エジプト美術館展」関連事業。音楽に合わせ、①ファラオニック、②ファラオニック、③オリエンタルベル、④AMARによるソロ、⑤Mayaによるガワジー、⑥Mayaによるソロ の6つのプログラムを総勢9名のダンサーが演じた。	2階ロビー
1月8日 (月・祝)	野村誠 (作曲家/鍵盤ハーモ ニカ奏者) 南川朱生 (鍵盤ハーモニカ奏 者・研究者)	春を祝うコンサート&パフォーマンス 野村誠とピアノマスのケンハモコンサート 今日とはことん鍵盤ハーモニカ! 「いわき市小・中学生版画展プラスー版画の力」の関連事業。野村誠と南川朱生による完全即興のコンサート。展示場をめぐって出品作品をきっかけとした即興演奏など、鍵盤ハーモニカと全身を使った楽しいパフォーマンスを繰り広げた。	企画展示室

普及事業 出版

● THE GALLERY いわき市立美術館ニュース

当館のニュースとして「THE GALLERY」を2回発行した。このうち、3月に発行した春号は開館40周年の記念号とした。

No.76 (2023年9月1日発行)

バルキー 210×210mm 巻き三つ折り 6ページ

・特集ーコロナ禍後の展覧会、みどころ

その1: 第2弾「体験!いわ美Ⅱ 見て・考えて・表現してー体験する現代アート」

その2: 「いわき市小・中学生版画展」今昔、そして未来。

・企画展紹介 民藝 MINGEIー美は暮らしのなかにある

・常設展示室から

・今後の主な展覧会のご案内

(普及係長 江尻英貴)

(学芸員 植田玲子)

(学芸員 伊藤圭一郎)

(学芸員 徳永祐樹)



実技講座「大人ののためのクレパス画講座」



実技講座「いわき市小・中学生版画展プラスー先生のための版画技法研究会(木リト)」



公開制作「岩手の民藝『鳥越竹細工』を知る」

No.77 (2024 年 3 月 15 日発行)

マットコート 210 × 210mm 観音折り 8 ページ

・ごあいさつー開館 40 周年を迎えて

(館長 杉浦友治)

・特集 1ー開館 40 周年に寄せて

(宇都宮美術館・やないづ町立斎藤清美術館長/前いわき市立美術館館長 佐々木吉晴)

「本物」の芸術作品を体験できるよこび…開館 40 周年記念 秘密の花園ーいわき市立美術館所蔵品展に寄せて

(美術批評家・東京藝術大学教授 布施英利)

・特集 2ー開館 40 周年記念 秘密の花園ーいわき市立美術館所蔵品展

(学芸員 伊藤圭一郎)

・企画展紹介 フィンランドのライフスタイルー暮らしを豊かにするデザイン

(学芸員 徳永祐樹)

・常設展示室から

(学芸員 徳永祐樹)

・学芸員ノート 「パネル組み」とは……?

(学芸員 鈴木彩乃)

・今後の主な展覧会のご案内

●いわき市立美術館年報

令和 4 年度年報 B 5 判 84 ページ

●展覧会図録等

ニューアートシーン・イン・いわき 森口美樹展ー明日の約束ー A 4 判観音折り

アートマップ「てくてく彫刻マップ」 A 3 判



普及事業 実技講習室 の公開

実技講座参加者やそれに準ずる個人に実技講習室や備品を開放。

開催日	講師	講座名(内容等)	会場
4月～		実技講習室の公開 リトグラフ制作などで利用があった。担当者が備品の保管場所や注意事項等を説明し、各々で制作に取り組んだ。	実技講習室

普及事業 図書室の公開

開館時間(午前 9 時 30 分から午後 5 時まで。7・8 月の金曜日は午後 8 時まで)にあわせ、室内での閲覧に限り図書室を公開。展覧会図録など公開していない資料についても利用者の申し出があれば閲覧可能。貸出業務は行っていない。



ダンス公演「古代エジプトとベリーダンス」



共催事業「小林道夫 チェンパロ・リサイタルーオール・パッサ・プログラム」



共催事業「第53回市美展『絵画・彫塑の部 招待作家による作品批評会』」

普及事業 実習生の 受け入れ

■博物館実習

8月1日（火）から8月11日（金・祝）にかけて、信州大学、日本大学、中央大学より3名の実習生を受け入れ、10日間の日程で学芸業務に関する講義・実習を行った。

普及事業 バーチャル ミュージアム

展覧会会場を360°カメラで撮影し、インターネット上で公開。

開催日	講師	講座名(内容)	会場
1月5日(金)～ 28日(日)	布施雅彦 (福島高専准教授)	360°バーチャルミュージアム「いわき市小・中学生版画展プラス―版画の力」 展覧会の開幕時から通年配信。学校や家庭で展覧会の様子を視聴するほか、 次年度版画展への出品の参考として利用しているとのも例あった。	当館ホーム ページ上

普及事業 共催事業

他公共施設、学校、さらに各種民間団体等と協働・連携し、多角的な事業を展開する。

開催日	講師	講座名(内容等)	共催先	会場
		企画展関連「展覧会を楽しむ鑑賞講座」 市内公共施設との共催で行う連続講座。学芸員が、スライド などを使って展覧会の見どころを紹介する。		
5月16日(火)	当館学芸員	飯野公民館市民講座「アートの楽しみ方 in 美術館」 クレパス画名作展	飯野公民館	セミナー室、 企画展示室
5月23日(火)	当館学芸員	ニューアートシーン・イン・いわき 森口美樹展―明日の約束―		
7月25日(火)	当館学芸員	古代エジプト美術館展		
9月12日(火)	当館学芸員	体験！いわ美Ⅱ		
11月16日(木)	当館学芸員	民藝 MINGEI―美は暮らしのなかにある		



共催事業「第53回市美展『書の部 招待作家による作品解説会』」



共催事業「第53回市美展『書の部 高校生による書道パフォーマンス&招待作家による席上揮毫』」



共催事業「第53回市美展『書の部 高校生による書道パフォーマンス&招待作家による席上揮毫』」

開催日	講師	講座名(内容等)	共催先	会場
5月17日(水)	当館学芸員	鹿島公民館市民講座「市立美術館を楽しむ」 ニューアートシーン・イン・いわき 森口美樹展—明日の約束—	鹿島公民館	セミナー室、 企画展示室
5月24日(水)	当館学芸員	クレパス画名作展		
7月26日(水)	当館学芸員	古代エジプト美術館展		
10月4日(水)	当館学芸員	体験！いわ美Ⅱ		
11月22日(水)	当館学芸員	民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある		
5月18日(木)	当館学芸員	中央公民館市民講座「アートに触れる in 美術館」 ニューアートシーン・イン・いわき 森口美樹展—明日の約束—	中央公民館	いわき市文化 センター大講 義室、企画展 示室
5月25日(木)	当館学芸員	クレパス画名作展		
7月20日(木)	当館学芸員	古代エジプト美術館展		
9月14日(木)	当館学芸員	体験！いわ美Ⅱ		
11月14日(火)	当館学芸員	民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある		
8月2日(水)	当館学芸員	中央公民館市民講座「ことばき文化学園」 古代エジプト美術館展	中央公民館	いわき市文化 センター大講 義室、企画展 示室
6月10日(土)	小林道夫 (古典鍵盤楽器奏者)	いわきアリオス×いわき市立美術館連携事業 小林道夫 チェンバロ・リサイタル—オール・バッハ・プロ グラム アリオス所蔵の16フィート・ジャーマン・チェンバロを 持ち込み、当館所蔵の若松光一郎《大地の歌》を1階ロビー に特別展示した空間で、バッハの「イギリス組曲第2番」 や「イタリア協奏曲」など全6曲を演奏。映像収録も実施し YouTubeで配信中。	いわき芸術文 化交流館アリ オス	1階ロビー
8月26日(土)、 8月27日(日)		美術協会・美術館友の会「裸婦デッサン会」 いわき美術協会、当館友の会との共催事業。新型コロナウイ ルス感染症流行にともなう休止を経て4年ぶりに開催した。 ヌードモデル1名を招き、2日間通してデッサンに取り組 んだ。今回は当館デッサン教室の講師でもある現代美術家 の山本伸樹氏がアドバイザーとして参加した。	いわき美術協 会、いわき市 立美術館友の 会	企画展示室
2月11日 (日・祝)	書の部招待作家	第53回市美展「書の部 招待作家による作品解説会」 書の部招待作家が出品作品を前に作品を解説する。	いわき市民美 術展覧会運営 委員会(書の 部)	企画展示室



共催事業「第53回市美展『書の部 高校生による
書道パフォーマンス&招待作家による席上揮毫』」



共催事業「『音の映画—Our Sounds』上映会
+アフタートーク」



共催事業「美術協会の会『デッサン教室』」

開催日	講師	講座名(内容等)	共催先	会場
2月18日(日)	書の部招待作家、磐城高等学校書道部	第53回市美展「書の部 高校生による書道パフォーマンス&招待作家による席上揮毫」 1階ロビーでは招待作家による席上揮毫が行われ、2階ロビーでは磐城高校書道部による書道パフォーマンスが披露された。	いわき市民美術展覧会運営委員会(書の部) 協力：福島県立磐城高等学校書道部	1・2階ロビー
2月24日(土)	絵画・彫塑の部招待作家	第53回市美展 「絵画・彫塑の部 招待作家による作品批評会」 絵画・彫塑の部招待作家が出品作品を前に作品を批評する。	いわき市民美術展覧会運営委員会(絵画・彫塑の部)	企画展示室
3月10日(日)、 3月17日(日)	陶芸の部部会員	第53回市美展 「陶芸の部 タッチコーナー」 陶芸の部部会員が作品を持ち寄り観覧者に作品を触ってもらうコーナーを開設した。共催元：いわき市民美術展覧会運営委員会(陶芸の部)	いわき市民美術展覧会運営委員会(絵画・彫塑の部)	2階ロビー
3月10日(日)	写真の部招待作家	第53回市美展 「写真の部 招待作家による作品解説会」 写真の部招待作家が出品作品を前に作品を解説する。	いわき市民美術展覧会運営委員会(写真の部)	企画展示室
3月31日(日)	ハブヒロシ (本作監督・編集、アーティスト/遊鼓奏者)	「音の映画—Our Sounds」 上映会+アフタートーク いわきアリオスとの連携事業。岡山県高梁市の日本語学校に集った様々な背景を持つメンバーが、一つの歌を作り上げるまでの様子を、映像のない音だけの映画として記録したドキュメンタリー「音の映画—Our Sounds」。いわきでは初となる上映会を催し、アフタートークでは監督と参加者の対話の場を設けた。	いわき芸術文化交流館アリオス	企画展示室 1
毎月2回	山本伸樹 (現代美術家)	美術館友の会「デッサン教室」 美術館友の会との共催事業。新型コロナウイルス感染症の流行による休止を挟んで、通年での講座開催は5年ぶり。土曜クラスと日曜クラスの参加者たちは、毎月1回、集中して課題に取り組み、それぞれにデッサンの技術を向上させた。	いわき市立美術館友の会	セミナー室

所 蔵 資 料

美術作品収蔵状況

年度	購 入		寄 贈		移管 点数	計 点数	寄 託	
	点数	備 考	点数	備 考			点数	備 考
昭55年	68		10		0	78	1	一色智嘉子《CHU》
56	115		337	宝船 312 点	0	452	1	大平華泉《白河城跡》
57	75		26		0	101		
58	357		67	資料 3 点含む	5	429		
59	54		27		4	85		
60	53		37		0	90		
61	23		105		7	135		
62	7		22		0	29		
63	21		8		0	29		
平成元	11		9		2	22	2	北郷悟《ERA》(寝台に横たわる人)
2	17		28	資料 2 点含む	0	45	49	
3	10		5		0	15	1	舟越桂《静かな奇襲》
4	9		9		0	18		
5	9		0		0	9		
6	5		4		0	9		
7	7		4		0	11		
8	7		2		0	9		
9	11		1		0	12	12	田口安男
10	28		6		0	34		
11	8		37		0	45	-43	松田松男 5 点及び中村一美 1 点《道元》。また H 2 年度寄託作品 49 点返却
12	11		23		0	34		
13	8		22		0	30	-1	中村一美《道元》(同年受贈)
14	8		1		0	9		
15	12		42		0	54	2	中村一美《織桑鳥 V》(北奥千丈)
16	33		13		0	46		
17	17		8		0	25		
18	3		1		0	4		
19	0		3		0	3	-1	大平華泉《白河城跡》(返却)
20	0		30		0	30	14	イケムラレイコ 13 点、河口龍夫 1 点
21	0		1		0	1		
22	0		0		0	0		
23	0		40	資料 9 点含む	0	40	-12	田口安男作品(平成 9 年度寄託作品受贈)
24	0		116		0	116		
25	0		18		0	18		
26	0		22		0	22	-1	中村一美《北奥千丈》(返却)
27	0		14		0	14		
28	0		157		0	157		
29	0		29		0	29		
30	0		22	資料 2 点含む	0	22	-1	舟越桂《静かな奇襲》(返却)
令和元	0		5		0	5		
2	0		5		0	5		
3	0		72	資料 4 点含む	0	72		
4	0		14		0	14		
5	0		11		0	11		
計	987		1,413		18	2,418	23	

美術作品貸出状況

作家名	作品名	貸し出し先	展覧会名	会期
パブロ・ピカソ	ジャクリース 槍を突いた後 バックス祭 ランプの下の静物 帽子を被る女の胸像 泉のほとりの裸婦	DIC 川村記念美術館 宇都宮美術館 ふくやま美術館	芸術家たちの南仏展	2023年 3月11日～ 6月18日 2023年 7月 2日～ 9月24日 2023年10月7日～ 12月10日
金昌烈	水滴 J.T.83001	北海道立近代美術館	トリック×イリュージョン！	2023年 4月22日～ 6月11日
高松次郎	遠近法のマラソン 遠近法のベンチ			
森村泰昌	美術史の娘、王女 B			
マウリッツ・コ ルネリス・エッ シャー	昼と夜 めぐり合い 登って降りて 婚姻の絆 滝			
緑川宏樹	くすぶる	京都国立近代美術館 岐阜県美術館 岡山県立美術館 菊池寛実記念智美術館	走泥社再考 前衛陶芸が生ま れた時代	2023年 7月19日～ 9月24日 2023年12月19日～ 2024年 2月18日 2024年 2月27日～ 4月 7日 2024年 4月20日～ 9月 1日

資料の購入等に関する状況

●図書資料

	購 入			受 贈			計
	図 書	図録・目録	館報・紀要	図 書	図録・目録	館報・紀要	
平成30年度まで	5,319	180	6	3,105	20,418	6,023	35,051
令和元年度	4	0	0	96	645	157	902
令和2年度	13	6	0	137	562	160	878
令和3年度	55	2	0	74	320	160	611
令和4年度	29	1	0	72	261	183	546
令和5年度	40	4	0	35	228	67	374
計	5,460	193	6	3,519	22,434	6,750	38,362

●映像資料

	購 入								受 贈				計
	CD	DVD	ビデオ テープ	LD	フィルム	スライド	カセット テープ	CD-R	CD	DVD	CD-R	その他	
平成30年度まで	24	75	245	51	11	16	0	0	93	99	8	64	686
令和元年度	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	5
令和2年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
令和3年度	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
令和4年度	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
令和5年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3
計	24	75	245	51	11	16	0	0	97	103	13	64	699

令和5年度新収蔵作品

凡 例

1. この目録には、令和5年度のいわき市立美術館新収蔵作品を収録した。
2. 作品の分類は、平面作品Ⅰ（直接技法に基づくもの）、平面作品Ⅱ（間接技法に基づくもの：版画等）、平面作品Ⅲ（ポスター、写真等）、立体作品、映像・その他。
3. 各作品のデータは以下の通り。
整理番号／作者名（生没年）
作品名
英文表記
制作年
技法・材質
寸法
サインの位置及び年記
最初の発表展覧会及び受賞歴
収蔵の経緯
登録番号
4. 作家名は分類ごとに日本人作家と外国人作家に大別し、日本人作家は五十音順に、外国人作家は姓のアルファベット順に配列した。
5. 制作年は、作品に明記されているもの、及び制作事情の明確なものに限って記載した。
6. 寸法は、センチメートルを単位として、平面作品では画面の縦×横、立体作品では高さ×幅×奥行きとした。

【令和5年度 収蔵作品分類】

平面作品Ⅰ	10点
平面作品Ⅱ	0点
平面作品Ⅲ	0点
立体作品	1点
映像・その他	0点
美術資料	0点
計	11点

〈平面作品Ⅰ〉

1. 大森義夫 OMORI Yoshio (1900-1978)

静物
Still life
1926
油彩・板
31.8×41.0
向かって右上) Yosio OMORI 26.11
受贈 北條洋
2023-3



2. 坂本孝正 SAKAMOTO Takamasa (1895-1980)

アメリカから来た少女
American girl
制作年不詳
油彩・カンヴァス
61.0×50.5
向かって右上) Kosei, S.
受贈 北條洋
2023-1



3. 坂本孝正 SAKAMOTO Takamasa (1895-1980)

赤ちゃん

Baby

1935頃

油彩・カンヴァス

54.0×45.0

向かって右下) Kosei. S.

受贈 北條洋

2023-2



4. 鈴木新夫 SUZUKI Arao (1915-1980)

お下げの少女

Girl

1978

油彩・カンヴァス

45.5×38.0

向かって左下) ARa

鈴木新夫自選展 (1979 東苑現代美術館、郡山市)

受贈 北條洋

2023-10



5. 若松光一郎 WAKAMATSU Koichiro (1917-1995)

素直 1 歳

Sunao 1 year old

1949

油彩・板

33.0×23.7

向かって左下) Sunao. 1 year Mitu.-49

受贈 中川素直

2023-4



6. 若松光一郎 WAKAMATSU Koichiro (1917-1995)

素直 3 歳

Sunao 3 years old

1952頃

油彩・板

33.0×23.8

受贈 中川素直

2023-5



7. 若松光一郎 WAKAMATSU Koichiro (1917-1995)

素直 4 歳

Sunao 4 years old

1953

油彩・合板

27.4×22.0

向かって左下) Mitu 53

受贈 中川素直

2023-6



8. 若松光一郎 WAKAMATSU Koichiro (1917-1995)

自画像

Self-portrait

1930年代

油彩・板

33.0×24.0

受贈 中川素直

2023-7



9. 若松光一郎 WAKAMATSU Koichiro (1917-1995)

父

Father

1930年代

油彩・板

33.0×24.0

受贈 中川素直

2023-8



10. 若松光一郎 WAKAMATSU Koichiro (1917-1995)

風景

Landscape

1945

油彩・板

24.0×33.0

向かって左下) K.Wakamatu 1945

受贈 中川素直

2023-9



〈立体作品〉

1. 黒川弘毅 KUROKAWA Hirotake (1952-)

ゴーレム25

Golem 25

1987-88

ブロンズ

37.0×88.0×48.0

受贈 黒川弘毅

2023-11



いわき市立美術館条例

昭和58年12月27日 いわき市条例第58号

(設置)

第1条 美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与するため、美術館を設置する。

(名称及び位置)

第2条 美術館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
いわき市立美術館	いわき市平字堂根町4番地の4

(事業)

第3条 いわき市立美術館（以下「美術館」という。）は、その目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 美術作品その他の美術に関する資料(以下「美術作品等」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 美術に関する調査及び研究を行うこと。
- (3) 美術に関する展覧会、講演会、講習会、映写会等を開催すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、美術館の設置の目的を達成するために必要な事業

(観覧料)

第4条 美術館の常設展（美術作品等の常設展示をいう。以下同じ。）を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。ただし、美術館の特別展（常設展以外の展示をいう。以下同じ。）と併せて観覧する場合又は国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第2条に規定する国民の祝日において観覧する場合は、この限りでない。

- 2 特別展を観覧しようとする者は、別表第2に定める額の範囲内において、市長が定める観覧料を納付しなければならない。

(撮影等の許可及び料金)

第5条 学術研究等のため、美術館に展示され、又は保管されている美術作品等の写真撮影、模写又は模造等をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

- 2 前項の許可を受けた者は、別表第3に定める撮影等料金を納付しなければならない。

(観覧料等の免除)

第6条 市長は、次の各号の一に該当すると認めるときは、観覧料（常設展に係るものに限る。）又は撮影等料金を免除することができる。

- (1) 外国人留学生が、福島県の実施する外国人留学生文化施設等無料観覧制度に基づき観覧するとき。
- (2) 国又は地方公共団体が行う教育、学術又は文化に係る事業の用に供するため撮影等をするとき。

(観覧料等の不返還)

第7条 既納の観覧料又は撮影等料金は、返還しない。ただし、市長は、災害その他不可抗力により、観覧又は撮影等をするができなくなったときは、既納の観覧料又は撮影等料金を返還することができる。

(入館の制限)

第8条 教育委員会は、美術館に入館しようとする者又は入館している者が次の各号の一に該当すると認めるときは、入館を制限し、又は館外へ退館させることができる。

- (1) 他人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれがあるとき。
- (2) 施設、設備又は美術作品等を損傷するおそれがあるとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の管理に支障があると認めるとき。

(賠償責任)

第9条 入館者は、施設、設備又は美術作品等を損傷し、又は滅失したときは、教育委員会の指示するところに従い、その損害を賠償し、又はこれを原状に回復しなければならない。ただし、市長は、相当の理由があると認める場合は、その全部又は一部を免除することができる。

(美術館協議会)

第10条 博物館法(昭和26年法律第285号)第23条第1項の規定に基づき、いわき市立美術館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が委嘱する。

3 協議会は、委員15人以内で組織する。

4 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(委任)

第11条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この条例は、昭和59年4月28日から施行する。ただし、第1条から第3条まで、第10条及び第11条の規定は、昭和59年4月1日から施行する。

(略)

附 則 (平成31年3月29日いわき市条例第8号)

1 この条例は、平成31年10月1日から施行する。

2 改正後の別表第3の規定は、この条例の施行の日以後の写真撮影、模写、模造、熟覧又は拓本(以下「撮影等」という。)の許可に係る撮影等料金について適用し、同日前の撮影等の許可に係る撮影等料金については、なお従前の例による。

附 則 (令和5年3月9日いわき市条例第8号)

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

別表第1 (第4条関係)

区 分	観 覧 料	
	個 人	団 体
一 般	220円	170円
高 校 生、高等専門学校生、大学生	150円	120円
小 学 生、中 学 生	70円	50円

備考 団体とは、20人以上をいう。

別表第2 (第4条関係)

区 分	観 覧 料	
	個 人	団 体
一 般	1,500円	1,200円
高 校 生、高等専門学校生、大学生	740円	590円
小 学 生、中 学 生	440円	350円

備考 団体とは、20人以上をいう。

別表第3 (第5条関係)

区 分		料 金	
写 真 撮 影	モ ノ ク ロ ーム	1点1回につき	1,650円
	カ ラ ー	1点1回につき	3,300円
模 写、模 造		1点1日につき	2,200円
熟 覧、拓 本		1点1回につき	220円

備考 1 ^{びょう}屏風は、1双を1点とする。
2 1そろいの卷子(巻物をいう。)は、1巻を1点とする。
3 対幅は、1幅を1点とする。
4 撮影は、同一作品について原板3枚以内を1回とする。

いわき市立美術館管理規則

昭和59年3月31日 いわき市教育委員会規則第6号

(趣旨)

第1条 この規則は、いわき市立美術館条例（昭和58年いわき市条例第58号。以下「条例」という。）の規定に基づき必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 いわき市立美術館（以下「美術館」という。）に、次の課及び係を置く。

庶務課 庶務係

学芸課 学芸係、普及係

(事務分掌)

第3条 課の事務分掌は、次のとおりとする。

庶務課

- (1) 公印の保管に関すること。
- (2) 予算の経理に関すること。
- (3) 美術館の維持管理に関すること。
- (4) 観覧料及び撮影等料金の徴収に関すること。
- (5) 統計に関すること。
- (6) 美術館協議会に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、学芸課の所掌に属しない事務に関すること。

学芸課

- (1) 美術作品等の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術に関する専門的な調査研究に関すること。
- (3) 展覧会、研究会、講演会、映写会等の開催に関すること。
- (4) 美術に関する案内書、解説書、目録等の刊行に関すること。
- (5) 美術作品等の利用に関する助言及び指導に関すること。
- (6) 美術作品等の寄贈及び寄託に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、学芸事務に関すること。

(職及び職務)

第4条 美術館に館長、副館長、課に課長、係に係長を置き、必要に応じ、参事、主幹、主任主査、専門学芸員、主査、主任学芸員、事務主任、主事、学芸員、主任運転手及び運転手を置く。

- 2 館長は、上司の命を受け、館務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
- 3 参事は、上司の命を受け、美術館の事務に関する企画及び調整に参画する。
- 4 副館長は、館長の職務遂行を補佐し、館長に事故があるときは、その職務を代理する。
- 5 主幹は、上司の命を受け、館長が定める特定の事務を掌理する。
- 6 課長は、上司の命を受け、課の事務を処理する。
- 7 係長は、上司の命を受け、係の事務を処理する。
- 8 主任主査は、上司の命を受け、館長が定める特定の事務を処理する。
- 9 専門学芸員は、上司の命を受け、館長が定める特定の専門的な事務を処理する。
- 10 主査は、上司の命を受け、美術館の事務の一部を分担処理する。
- 11 主任学芸員は、上司の命を受け、係の事務のうち特定の事務を処理する。
- 12 事務主任は、上司の命を受け、係の事務の一部を分担処理する。
- 13 主事は、上司の命を受け、事務をつかさどる。
- 14 学芸員は、上司の命を受け、専門的な事務を処理する。
- 15 主任運転手は、上司の命を受け、担任の自動車運転の業務を処理する。
- 16 運転手は、上司の命を受け、自動車運転の業務に従事する。

(休館日)

第5条 美術館の休館日は、次の各号に掲げる日とする。ただし、教育委員会は、必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

- (1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たるときは、その日後のその日に最も近い休日でない日）
- (2) 1月1日から同月4日まで及び12月28日から同月31日まで

(開館時間)

第6条 美術館の開館時間は、午前9時30分から午後5時（入館は、午後4時30分）までとする。ただし、毎年7月及び8月の金曜日については、午前9時30分から午後8時（入館は、午後7時30分）までとする。

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、これを臨時に変更することができる。

(観覧券の交付)

第7条 条例第4条の規定により、観覧料を納付した者に対して観覧券（第1号様式）を交付しなければならない。

(撮影等の許可及び料金)

第8条 条例第5条第1項に規定する撮影、模写又は模造等（以下「撮影等」という。）をしようとする者は撮影等許可申請書（第2号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、撮影等を許可したときは、撮影等許可書（第3号様式）を交付する。

(観覧料等の減免)

第9条 条例第6条第2号又はいわき市障害者、高齢者及び児童生徒等の利用に係る公の施設の使用料の減免に関する条例（平成13年いわき市条例第56号）第5条第1項の規定により観覧料又は撮影等料金の減免を受けようとするときは、観覧料・撮影等料金減免申請書（第4号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請があった場合において、観覧料又は撮影等料金の減免を決定したときは、観覧料・撮影等料金減免通知書（第5号様式）を交付する。

(観覧料等の返還)

第10条 条例第7条の規定により観覧料又は撮影等料金の返還を受けようとする者は、その理由を記載した観覧料・撮影等料金返還申請書（第6号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

(美術館協議会の会長及び副会長)

第11条 条例第10条に規定するいわき市立美術館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長各1人を置き、それぞれ委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第12条 協議会の会議は、会長が招集し、会長が会議の議長となる。

2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 協議会の会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(事務処理及び服務)

第13条 美術館における事務処理及び服務については、いわき市教育委員会事務局処務規程（昭和47年いわき市教育委員会訓令第2号）に基づく事務処理及び服務の例による。

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し、必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、昭和59年4月1日から施行する。ただし、第5条から第10条までの規定は、昭和59年4月28日から施行する。

(略)

附 則（平成22年3月31日いわき市教委規則第5号）

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

第1号様式（第7条関係）

その1

常 設 展 観 覧 券	(切	常 設 展 観 覧 券
金 額 取	線	金 額
いわき市立美術館	この券をもって領収に代えます。	いわき市立美術館

その2

特 別 展 観 覧 券	(切	特 別 展 観 覧 券	(切	常 設 展 観 覧 券
金 額 取	線	金 額 取	線	金 額 取
いわき市立美術館	この券をもって領収に代えます。	いわき市立美術館		いわき市立美術館

備考 1 寸法、デザイン等については、その都度定める。
2 観覧券の区分は、一般、高校生・高等専門学校生・大学生及び小学生・中学生とする。

第2号様式（第8条関係）

第2号様式（第8条関係）

撮影等許可申請書

いわき市教育委員会殿

年 月 日

住所又は所在地

氏名又は名称及び代表者

電話

第 号 年 月 日許可

美術作品の名称

作者名

点数

日時 年 月 日 時 分から 時 分まで

目的

方法

撮影 模写 模造 熟覧 拓本

料 金

撮影

モノクローム

点

円

計

カラー

点

円

模写・模造

点

円

熟覧・拓本

点

円

館長 副館長 課長 係長 係

第3号様式（第8条関係）

第3号様式（第8条関係）

撮影等許可書

殿

いわき市教育委員会

下記のとおり撮影等を許可します。

第 号 年 月 日許可

美術作品の名称

作者名

点数

日時 年 月 日 時 分から 時 分まで

目的

方法

撮影 模写 模造 熟覧 拓本

料 金

撮影

モノクローム

点

円

計

カラー

点

円

模写・模造

点

円

熟覧・拓本

点

円

円

指示事項

第4号様式（第9条関係）

第4号様式（第9条関係）

観覧料 減免 申請書
撮影等料金
いわき市教育委員会

年 月 日

住所（所在地）
申請者 氏名（名称及び代表者氏名）
電話番号
担当者氏名

注意 太枠の中だけ記入してください。

観覧日時 年 月 日 時 分から 時 分まで		撮影等日時 年 月 日 時 分から 時 分まで		撮 影 等	
区 分	常設展	特別展	撮 影 等		
一 般	人	人	写真撮影	モノクローム	点
高 校 生	人	人		カ ラ ー	点
高 等 専 門 学 校 生	人	人		模 写 ・ 模 造	点
大 学 生	人	人		熟 覧 ・ 拓 本	点
小 学 生	人	人			点
中 学 生	人	人			点
計	人	人	計		点

減免申請の理由

☐減免する。
☐減免しない。

減免しない理由

申請すべき観覧料等 円
減免率
減免後の観覧料等 円
起 案 年 月 日
決 裁 年 月 日
施 行 年 月 日
許可番号 第 号

館長 副館長 課長 係長 係員

第5号様式（第9条関係）

第5号様式（第9条関係）

観覧料 減免 通知書
撮影等料金
様

年 月 日

いわき市教育委員会 印

申請年月日 年 月 日		許可番号 第 号	
観覧日時 年 月 日 時 分から 時 分まで		撮影等日時 年 月 日 時 分から 時 分まで	
区 分	常設展	特別展	撮 影 等
一 般	人	人	写真撮影 モノクローム カ ラ ー 模 写 ・ 模 造 熟 覧 ・ 拓 本 計
高 校 生	人	人	
高 等 専 門 学 校 生	人	人	
大 学 生	人	人	
小 学 生	人	人	
中 学 生	人	人	
計	人	人	計

減免率

減免率

減免後の観覧料

減免後の撮影等料金

第6号様式（第10条関係）

第6号様式（第10条関係）

観覧料 返還 申請書
撮影等料金

いわき市教育委員会殿

下記のとおり 観覧料 撮影等料金の返還を受けたいので申請します。

年 月 日

住所又は所在地

氏名又は名称及び代表者

電話

第 号 年 月 日許可

申請理由

既納観覧料等
観覧料 枚 円
撮影料等 枚 円

返還申請金額 円

館長 副館長 課長 係長 係員

事業経過報告

令和6年3月31日現在

展 覧 会 名		開催期間 (日 数)	料 金						入 場 者 数								5 年 度 計
			一 般			団 体			一 般			団 体			招 待	無 料	
			一般	高大	小中	一般	高大	小中	一般	高大	小中	一般	高大	小中			
常 設 展	光と影の現代美術 Ⅱ 収蔵作家セクション： 加納光於 1/28 ～ 4/16	4/1 ～ 4/16 14日間	220	150	70	170	120	50	70	3	10	1	0	0	1	144	229
	ポップの遺伝子：大衆性と美術 Ⅰ 素描・版画セクション： 海外作家を中心に 4/18 ～ 7/17 Ⅱ 素描・版画セクション： 新収蔵作品を中心に 7/19 ～ 10/15	4/18～10/15 158日間	220	150	70	170	120	50	464	44	17	10	29	0	1,494	16,117	18,175
	あつまれ！ 彫刻の森 Ⅰ 収蔵作家特集： 若林奮 10/17 ～ 1/21 Ⅱ 収蔵作家特集： 河口龍夫 1/23 ～ 4/14	10/17～3/31 137日間	220	150	70	170	120	50	492	55	15	51	0	0	165	2,781	3,559
	常 設 展 計 (A)		309日間						1,026	102	42	62	29	0	1,660	19,042	21,963
企 画 展	クレバス画名作展 近代の巨匠から現代の作家まで	4/15 ～ 6/4 45日間	800	300	200	640	240	160	1,557	81	110	208	1	0	248	2,276	4,481
	古代エジプト美術館展	6/24 ～ 8/20 51日間	1,200	600	400	960	480	320	22,140	1,094	1,712	696	2	2	4,029	11,102	40,777
	体験！いわ美Ⅱ 見て・考えて・表現して ― 体験する現代アート	9/9 ～ 10/9 27日間	400	200	100	320	160	80	455	25	69	45	33	0	55	838	1,520
	民藝 MINGEI ― 美は暮らしのなかにある	10/28～12/17 44日間	1,100	500	300	880	400	240	2,515	85	37	603	1	0	325	2,972	6,538
	ニューアートシーン・イン・いわき 森口美樹展 ― 明日の約束 ―	4/25～6/4 37日間	無 料												4,146	4,146	
	いわき市小・中学生版画展プラス ― 版画の力	1/5 ～ 1/28 21日間	無 料												2,943	2,943	
	第 53 回いわき市民美術展覧会 (書の部)	2/9 ～ 2/18 9日間	無 料												974	974	
	(絵画・彫塑の部)	2/23 ～ 3/3 9日間	無 料												1,907	1,907	
	(陶芸の部・写真の部)	3/8 ～ 3/17 9日間	無 料												1,480	1,480	
	企 画 展 計 (B)								26,667	1,285	1,928	1,552	37	2	4,657	28,638	64,766
展 覧 会 事 業 計								27,693	1,387	1,970	1,614	66	2	6,317	47,680	86,729	
普 及 事 業 計																3,523	
合 計								27,693	1,387	1,970	1,614	66	2	6,317	47,680	90,252	

令和5年度普及事業報告

令和6年3月31日現在

事業名	内 容 等	講 師 等	月 日	人数
移動美術館	総合教育センター チャレンジーホーム「ステイニング技法でトートバッグをつくろう」	当館学芸員	12月13日	15
小 計				15
講演会	クレパス画の魅力	清水靖子（サクラアートミュージアム主任学芸員）	4月15日	25
	「ニューアートシーン・イン・いわき 森口美樹展—明日の約束—」アーティストトーク	森口美樹（作家）	5月5日	7
	古代エジプトの信仰と死生観	近藤二郎（早稲田大学名誉教授）	7月2日	45
	暮らしのなかの民藝	森谷美保（「民藝 MINGEI」監修／美術史家）	11月5日	29
小 計				106
美術講座	スライドトーク「展覧会の見どころ」（クレパス画名作展）	当館学芸員	5月20日	23
	スライドトーク「展覧会の見どころ」（古代エジプト美術館展）	当館学芸員	7月29日	31
	ティーチャーズミュージアム	当館学芸員	8月1日	12
小 計				66
ギャラリー	常設展ギャラリートーク	当館学芸員	毎週土曜日（35回）	111
	ギャラリートーク「古代エジプト美術館展」	菊川匡（古代エジプト美術館 渋谷 ファウンダー）	6月24日	45
	ギャラリートーク「体験！いわ美Ⅱ 見て考えて表現して体験する現代アート」	当館学芸員	9月30日	11
	版画展 学芸員によるギャラリートーク	当館学芸員	1月20日	4
	団体解説	当館学芸員	通年（18回）	482
小 計				653
ワークショップ	ワークショップ「古代エジプトのひみつ」①「ヒエログリフのひみつ」	高見妙、田澤恵子（古代オリエント博物館教育普及員、研究員）	7月15日	24
	ワークショップ「古代エジプトのひみつ」②「ミイラ作りのひみつ」	高見妙、田澤恵子（古代オリエント博物館教育普及員、研究員）	7月16日	32
	美術館的自由研究ノススメ 2023	当館学芸員	8月5日、8月6日	6
	「パッケージクラフトに挑戦」	高橋和真（パッケージクラフト作家）	9月16日、9月17日	26
	学校でリトグラフ	佐竹邦子（多摩美術大学教授）	11月2日、11月6日	33
	ワークショップ 「三春人形と触れ合おう！」	橋本彰一（デコ屋敷大黒屋代表取締役）	11月25日	18
	小・中学生版画展 かんたん！版画 体験コーナー	当館スタッフ	1月5日～1月28日	462
	わくわくアートスクール「えっ、丸シールでお絵描き!？」	大村雪乃（現代美術家）	1月13日、1月14日	66
小 計				667
実技講座	子どものためのクレパス画講座	清水靖子（サクラアートミュージアム主任学芸員）	5月3日	20
	大人のためのクレパス画講座	清水靖子（サクラアートミュージアム主任学芸員）	5月3日	20
	先生のための版画技法研究会（木口）	佐竹邦子（多摩美術大学教授）	7月27日	18
小 計				58
公開制作	岩手の民藝「鳥越竹細工」を知る	柴田恵（鳥越竹細工作家・「竹のめぐみ」主宰）	11月18日、11月19日	67
小 計				67
映像鑑賞会	映画鑑賞会「メットガラ ドレスをまとった美術館」		4月30日	29
	春分の日映画会「ソング・オブ・ザ・シー 海のうた」		3月20日	43
小 計				72
コンサート＆パフォーマンス	ダンス公演「古代エジプトとベリーダンス」	Maya Gamila & Maya Troupe（オリエント・エジプシャンダンサー）	8月11日、8月12日	220
	春を祝うコンサート＆パフォーマンス 野村誠とピアノニマスのケンハモコンサート 今日とはことん鍵盤ハーモニカ！	野村誠（作曲家／鍵盤ハーモニカ奏者） 南川朱生（鍵盤ハーモニカ奏者・研究者）	1月8日	102
小 計				322
実技講習室の公開	実技講習修了者による自己研鑽補助、実技相談など		通年	11
小 計				11
バーチャルミュージアム	360°バーチャルミュージアム「いわき市小・中学生版画展プラス—版画の力」	布施雅彦（福島高専准教授）	1月5日～1月28日	413
小 計				413
共 催 事 業	飯野公民館市民講座「アートの楽しみ方 in 美術館」	当館学芸員	5月16日～11月16日（5回）	69
	鹿島公民館市民講座「市立美術館を楽しむ」	当館学芸員	5月17日～11月22日（5回）	96
	中央公民館市民講座「アートに触れる in 美術館」	当館学芸員	5月18日～11月14日（5回）	106
	小林道夫 チェンバロ・リサイタル—オール・バツハ・プログラム	小林道夫（古典鍵盤楽器奏者）	6月10日	76
	中央公民館「ことぶき文化学園」（古代エジプト美術館展）	当館学芸員	8月2日	43
	美術協会・美術館友の会「裸婦デッサン会」		8月26日、8月27日	26
	第53回市美展「書の部 招待作家による作品解説会」	書の部招待作家	2月11日	35
	第53回市美展「書の部 高校生による書道パフォーマンス & 招待作家による席上揮毫」	書の部招待作家、磐城高等学校書道部	2月18日	120
	第53回市美展「絵画・彫塑の部 招待作家による作品批評会」	絵画・彫塑の部招待作家	2月24日	13
	第53回市美展「陶芸の部 タッチコーナー」	陶芸の部部会員	3月10日、3月17日	115
	第53回市展「写真の部 招待作家による作品解説会」	写真の部招待作家	3月10日	26
	「音の映画—Our Sounds」上映会+アフタートーク	ハブヒロシ（本作監督・編集、アーティスト／遊鼓奏者）	3月31日	31
	美術館友の会「デッサン教室」	山本伸樹（現代美術家）	4月22日～3月24日（24回）	317
小 計				1,073
合 計				3,523

※バーチャルミュージアムは現在も公開中であるが、版画展会期中（1/5～1/28）の閲覧者数を人数としてカウントした。

令和5年度美術館費当初予算

(単位：千円)

項 目			金 額
人	件	費	71,116
管	理	費	154,279
	施 設	管 理 費	130,860
	作 品	購 入 費	0
	長 寿 命	化 事 業 費	23,419
事	業	費	67,518
	企 画	展 事 業 費	64,204
	常 設	展 事 業 費	1,553
	教 育	普 及 事 業 費	1,509
	調 査	研 究 事 業 費	244
	美 術 品	等 取 得 基 金 繰 出 金	8
計			292,913

美術館協議会委員

任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日

役職	氏 名	職 業（役職名）
委 員	大場 敏宣	一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー 会長
委 員	西本 泉	いわき女性の会 元会長
委 員	鷲 弘樹	株式会社いわき市民コミュニティ放送 代表取締役
委 員	鷲 邦明	いわき美術協会 事務局長
委 員	鳥海陽太郎	いわき地域学会 副代表幹事
委 員	小野 卓也	いわき青年会議所 常任理事
委 員	蛭田 房子	国際ソロプチミストいわき 会長
委 員	安斉 重夫	美術家
委 員	吉田 重信	美術家
委 員	武藤 眞一	いわき市立美術館友の会 会長
委 員	窪木富士美	いわき市小学校教育研究会図画工作部会 元部長
委 員	西田 英実	いわき市中学校教育研究会美術専門部会 部長
委 員	土屋 裕子	福島県高等学校教育研究会美術工芸専門部会 いわき支部長
委 員	鎌田真理子	医療創生大学心理学部教授
委 員	鈴木 純子	いわき市子ども会育成会連絡協議会 会計

【博物館法】

第21条 博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行うもの並びに学識経験を有する者の中から当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

美術館職員

令和5年4月1日現在

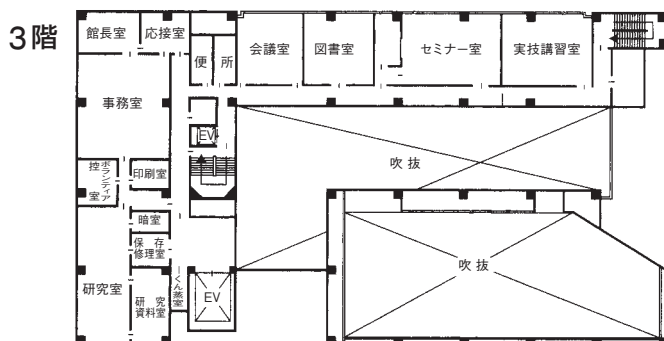
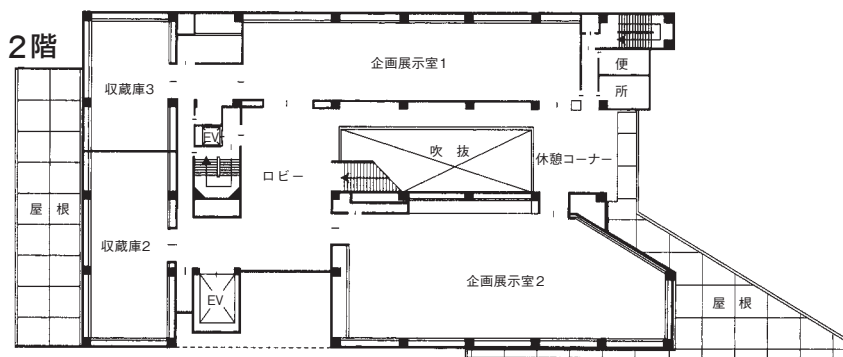
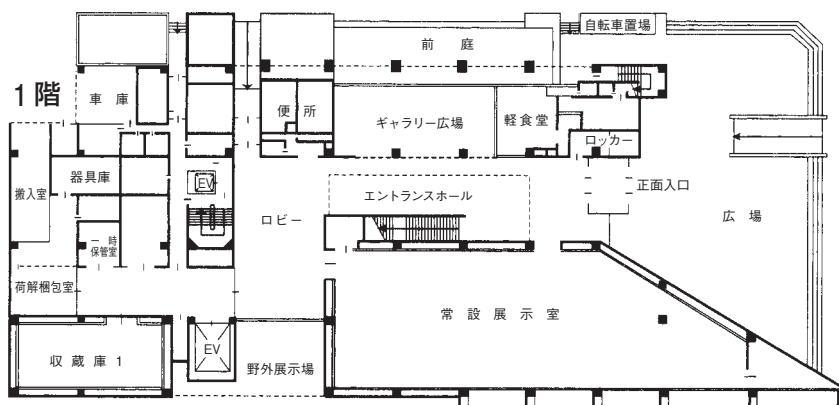
	職 名	氏 名
	館 長(事)	杉浦 友治
	副 館 長(事)	大樂 幸江
《庶務課》	課 長（兼務）	大樂 幸江
○ 庶務係	係 長(事)	橋本 武司
	主 査	大須賀美栄
《学芸課》	課 長(事)	秋葉 啓子
○ 学芸係	係 長（兼務）	秋葉 啓子
	学 芸 員	徳永 祐樹
	学 芸 員	鈴木 彩乃
○ 普及係	係 長(事)	江尻 英貴
	学 芸 員	伊藤圭一郎
	学 芸 員（再任用）	植田 玲子

美術品選定評価委員会委員

任期 令和4年4月1日～令和6年3月31日

役職	氏 名	職 業（役職名）
委員長	北 郷 悟	彫刻家
副委員長	小勝 禮子	京都芸術大学非常勤講師
委 員	荒木 康子	福島県立美術館専門員
委 員	大谷 省吾	東京国立近代美術館副館長
委 員	野口 玲一	三菱一号館美術館上席学芸員

平 面 図



●開館時間

午前9時30分～午後5時（展示室への入場は午後4時30分まで）

7、8月の毎週金曜日は、夜8時まで開館。（展示室への入場は午後7時30分まで）

●休館日

毎週月曜日（ただし月曜日が祝日等の場合は開館し、翌日休館）

年末年始（12月28日～1月4日）

●観覧料

	常 設 展	企 画 展（その都度定める）
一 般	220円（170円）	1,500円（1,200円）以内
高・高専・大学生	150円（120円）	740円（590円）以内
小・中学生	70円（50円）	440円（350円）以内

※（ ）内は、20名以上の団体割引料金。

※企画展チケットで常設展もご覧になれます。

●企画展・常設展が無料になる場合

- ・市内在住の65歳以上の方は、企画展・常設展無料
- ・身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方は、企画展・常設展無料
- ・土曜日、日曜日に限り、市内の小学校、中学校、高等学校、専修学校（高等課程）、高等専門学校に在学の方は、企画展・常設展無料
- ・祝日は、常設展無料

●図書室の利用時間

午前9時30分～午後5時

7月、8月の毎週金曜日は午後8時まで

●実技講習室の利用時間

午前9時30分～午後4時45分

7月、8月の毎週金曜日は夜7時45分まで

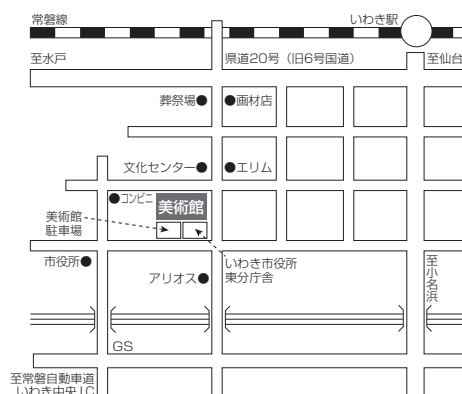
●交 通

J R常磐線、磐越東線いわき駅より徒歩12分

常磐自動車道いわき中央ICより10分

駐車場：美術館駐車場、他 いわき市公共駐車場

●地 図



令和5年度
いわき市立美術館年報

編集・発行
いわき市立美術館
〒970-8026 いわき市平字堂根町4-4

